

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 12 月 11 日

阪神高速道路健康保険組合

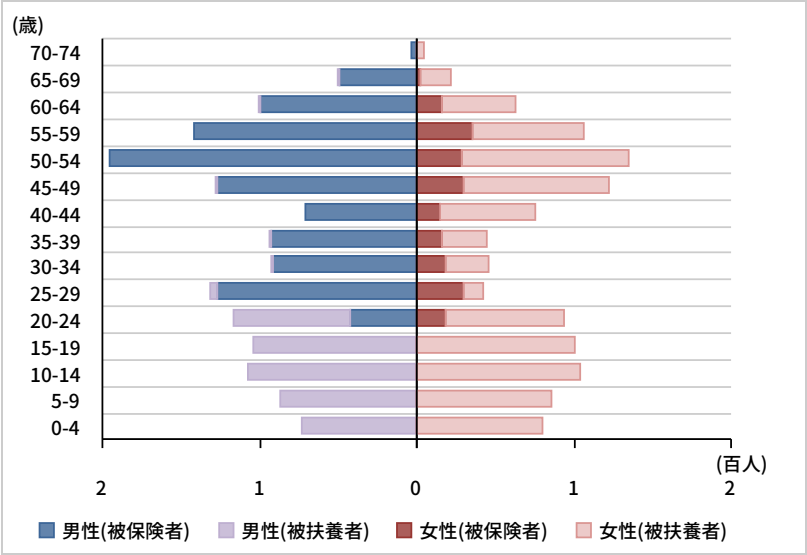
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	63064		
組合名称	阪神高速道路健康保険組合		
形態	単一		
業種	その他のサービス業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	1,252名 男性83.4% (平均年齢45.69歳) * 女性16.6% (平均年齢43.3歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	2,556名	-名	-名
適用事業所数	6カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	4カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	85.00%o	-%o	-%o

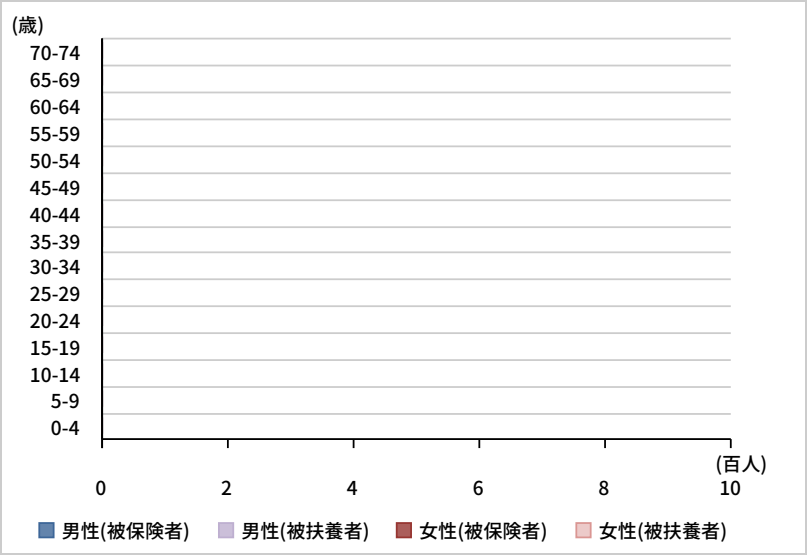
		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	1	-	-	-	-
	保健師等	2	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	985 / 1,263 = 78.0 %				
		被保険者	834 / 844 = 98.8 %				
		被扶養者	151 / 419 = 36.0 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	60 / 142 = 42.3 %				
		被保険者	55 / 136 = 40.4 %				
		被扶養者	5 / 6 = 83.3 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	6,289	5,023	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	4,149	3,314	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	3,533	2,822	-	-	-	-
	疾病予防費	26,643	21,280	-	-	-	-
	体育奨励費	5,000	3,994	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1,102	880	-	-	-	-
	小計 …a	46,716	37,313	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	879,513	702,486	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	5.31		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	42人	25～29	127人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	91人	35～39	93人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	71人	45～49	127人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	195人	55～59	142人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	99人	65～69	49人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	3人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	18人	25～29	30人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	18人	35～39	16人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	15人	45～49	30人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	28人	55～59	35人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	16人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	73人	5～9	87人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	107人	15～19	104人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	74人	25～29	5人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1人	35～39	1人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	80人	5～9	86人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	104人	15～19	100人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	75人	25～29	12人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	27人	35～39	29人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	60人	45～49	92人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	106人	55～59	71人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	47人	65～69	19人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	5人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

1. 小規模な健保組合（被保険者1,252人、被扶養者1,368人）である。
2. 被保険者は、男性の方が多いが、被扶養者は、女性の方が圧倒的に多い。
3. 事業主の拠点は大阪である。
4. 40代から50代に加入者構成が偏っている。
5. 当健保組合には、医療専門職が不在。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	健保だより
保健指導宣伝	育児指導書
保健指導宣伝	保健誌 1
保健指導宣伝	保健誌 2
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品使用促進
保健指導宣伝	健康管理推進委員会実施費用
保健指導宣伝	健康セミナー開催（事業主との共催）
保健指導宣伝	生活習慣病の情報提供事業
保健指導宣伝	ホームページ
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定健康診査事業	特定健康診査受診勧奨
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	無受診者表彰
疾病予防	1泊2日ドック
疾病予防	年齢別半日ドック
疾病予防	半日ドック
疾病予防	脳ドックと半日ドック
疾病予防	胃X線検診
疾病予防	胃精検
疾病予防	健康電話相談
疾病予防	骨密度検診
疾病予防	婦人科検診
疾病予防	禁煙サポート事業
疾病予防	前期高齢者向け電話保健指導
疾病予防	郵送検診
疾病予防	歯周病リスク検査
体育奨励	カフェポイント原資
その他	カフェポイント原資
その他	カフェポイント原資
事業主の取組	

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	5	健保だより	【目的】健康意識の醸成 【概要】予算・決算状況や健保情報の提供と周知	全て	男女	20～-	被保険者	620	・「健保だより」の配布（年2回） ・「すこやかファミリー」の配布（年2回）	予算・決算状況等、健保情報の提供と周知	加入者の関心を高めるような企画を立案	5
	5	育児指導書	【目的】出産後の子育て支援 【概要】子育て等に必要な情報を提供	全て	男女	-～-	基準該当者	206	出産時に出版社より定期的に配布 令和5年度配布数：14名	・赤ちゃんの成長に合わせて情報誌が郵送される ・対象者から情報誌に関する感想なども寄せられる	－	5
	5	保健誌1	【目的】健康保険や健康管理に関する情報提供 【概要】新規採用社員向けの研修時に資料として「健康保険ガイドブック」を配布	全て	男女	-～-	被保険者	44	毎年4月に実施される新規採用社員へ配布	新入社員向けにポイントを絞って説明、周知	－	5
	5	保健誌2	【目的】健康管理 【概要】出版元より対象者へ発送	全て	男女	60～69	被保険者	352	機関誌「ばらんす」を年4回発行 出版元より対象者へ直送	－	－	5
	8	医療費通知	【目的】医療費の適正化と請求誤りの是正 【概要】医療機関の受診者に対して医療費の額を通知	全て	男女	-～-	加入者全員	343	毎月給与日に配布	－	－	5
	7	ジェネリック医薬品使用促進	【目的】ジェネリック医薬品に切り替えることで本人負担および組合負担の減少につながる 【概要】差額通知をすることでジェネリック医薬品に切り替える必要性を認識	全て	男女	-～-	加入者全員	97	差額通知（年2回） ジェネリック希望シール配布	半年で1,000円以上の差額、また2回（年間）2,000円以上の差額の方を対象として通知	受診月と通知月のずれを最小とする	5
	5	健康管理推進委員会実施費用	【目的】保健事業の検討実施資料等の費用 【概要】組合が実施する保健事業について幅広く意見を聴取し、真に必要な保健事業の推進を図る	全て	男女	-～-	加入者全員	100	年1回実施（12月）	－	－	5
	5	健康セミナー開催（事業主との共催）	【目的】被保険者の健康増進のため 【概要】事業主との共催にて希望者を募り健康教育を行う	全て	男女	-～-	被保険者	500	毎年1回	コラボヘルス	多くの方が参加できるよう時期を設定 関心の多い健康教育を実施	5
	5	生活習慣病の情報提供事業	【目的】生活習慣の改善への意識をもってもらう 【概要】HPにて周知	全て	男女	-～-	被保険者	108	－	－	－	1
5	ホームページ	【目的】健康情報の提供 【概要】HP変更費用	全て	男女	-～-	加入者全員	200	－	HPの活用で全対象事業所の加入者全員に周知ができる	－	5	
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査	【目的】生活習慣病の予防 【概要】被保険者に対しては、事業主が行う定期健康診断と併せて実施。被扶養者については、随時受付の人間ドック受診時に実施。もしくは特定健診のみ受診も可能。	全て	男女	40～74	基準該当者	6,059	対象者数 本人：794名 家族：380名 受診者数 本人：785名うち事業主健診779名 家族：133名	被保険者は、事業主が実施している定期健診と合わせて特定健診を受診しているため、実施率が高い。 被扶養者の巡回健診では、検査項目として婦人科検診が健保負担になったことで受診者数も増えた。	被扶養者の受診率を伸ばすために、巡回健診の充実を図る。健診機関場所を増加する。	3
	3	特定健康診査受診勧奨	【目的】生活習慣病の予防および被扶養者の受診率アップ 【概要】被扶養者の方へ巡回健診および人間ドック等の案内することによる受診勧奨	全て	女性	40～74	基準該当者	6,289	5月実施 送付数：415通 ドック等受診者：78名 巡回健診受診者：62名	－	案内の仕方に工夫が必要	1

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】生活習慣病の予防 【概要】被保険者に対しては、事業主が行う定期健康診断と併せて実施。被扶養者については、随時受付の人間ドック・巡回健診受診時に実施。	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	4,149	【令和５年度】 対象者数：142名 利用者数：61名	・オンライン保健指導（令和４年度より実施） ・職場上長を通じた受診勧奨（令和５年度から実施）	・事業主が実施する定期健康診断と同じ健診機関で当日面談を実施 ・ドラッグストアでの保健指導	2
	5	無受診者表彰	【目的】健康の維持・管理 【概要】年度ごとに健康表彰者へ記念品を授与	全て	男女	40～74	基準該当者	257	毎年10月に実施（年１回） 令和５年度対象者数：34名	－	歯の検診の受診のみは無受診者に含める	5
疾病予防	3	1泊2日ドック	【目的】疾患の早期発見 【概要】所定の契約医療機関で予約・受診（健康保険組合負担2万円）	全て	男女	30～（上限なし）	基準該当者	200	令和５年度 受診者数：被保険者１名 予算10名見込	組合補助によるがん検診の推進	－	2
	3	年齢別半日ドッグ	【目的】疾患の早期発見 【概要】35・40・45・50歳の被保険者が所定の契約医療機関で予約・受診（健康保険組合負担3万円）	全て	男女	-～-	被保険者	900	令和５年度 受診者数：10名 予算30名見込	組合補助によるがん検診の推進	－	2
	3	半日ドック	【目的】疾患の早期発見 【概要】所定の契約医療機関で予約・受診（健康保険組合負担2万円）	全て	男女	30～（上限なし）	基準該当者	4,000	令和５年度 受診者数：112名 予算200名見込	組合補助によるがん検診の推進	－	2
	-	脳ドックと半日ドック	【目的】疾患の早期発見 【概要】所定の契約医療機関で予約・受診（健康保険組合負担3万円）	-	男女	45～（上限なし）	基準該当者	1,050	令和５年度 受診者数：25名 予算30名見込	最も充実した検査により疾患の早期発見	－	2
	3	胃X線検診	【目的】疾患の早期発見 【概要】所定の契約医療機関で所定の日に受診（健康保険組合全額負担）	全て	男女	35～（上限なし）	被保険者	1,375	令和５年度 受診者数：182名 予算240名見込	早期発見が可能	受診しやすい環境づくり	3
	3	胃精検	【目的】疾患の早期発見、早期治療 【概要】胃X線検診の受診者で、異常等が見つかった場合、精密検査を受診（X線や内視鏡による検査）（健康保険組合全額負担） 1人当たり平均12,000円	全て	男女	35～（上限なし）	被保険者	1,155	令和５年度 受診者数：14名 予算70名見込	胃X線検診にて要精検対象者になった方へ受診勧奨	受診しやすい環境づくり	2

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	6	健康電話相談	-	全て	男女	- ～ -	加入者全員	450	令和5年度 ・24時間電話健康相談サービス：52名 ・二次検診ネットワーク：1名	－	－	2
	3	骨密度検診	【目的】 女性疾患の早期発見 【概要】 定期健康診断実施時に希望者に実施（健康保険組合負担）	全て	男女	- ～ -	被保険者	400	令和5年度 受診者数：138名 予算160名見込	女性の骨密度低下に対処するため推進	定期健康診断と合わせて受診するため広報を強化する	3
	3	婦人科検診	【目的】 女性疾患の早期発見 【概要】 被保険者は定期健康診断実施時、希望者が受診被扶養者は巡回健診実施時、希望者が受診（健保組合全額負担）	全て	女性	- ～ -	基準該当者	1,430	令和5年度 受診者数 （子宮がん検査） 被保険者：122名 被扶養者：25名 （乳がん検査） 被保険者：154名 被扶養者：40名 予算（子宮がん検査）：150名見込 （乳がん検査）：200名見込	被扶養者向けに行う婦人科検診が健保負担となったことで受診者数が増えた	定期健康診断と合わせて受診するため広報を強化する	-
	3	禁煙サポート事業	【目的】 喫煙者へ禁煙を勧める 【概要】 事業委託先より対象者へ発送	全て	男女	- ～ -	被保険者	332	令和5年度 喫煙対象者：141名 禁煙チャレンジ者：2名	40、50歳代が80%を占めている。禁煙補助剤の使用で禁煙に取り組む方向に導くことを目的とする。	毎年、少しでも禁煙に取り組んでもらえるような内容を検討。また、特定保健指導同様、事業主からの案内も検討。	1
	4	前期高齢者向け電話保健指導	【目的】 前期高齢者になる前の方を対象に健康管理による予防、病気の早期発見 【概要】 年を重ねるたびに、一般的には病院への受診が増加することに伴い、健康維持・増進および適正な受診を勧める	全て	男女	60 ～ 64	被扶養者	534	令和5年度 対象者数：31名 予算30名見込	前期高齢者になる前（予備軍）の方を対象とした健康維持・増進および適正な受診勧奨	－	2
	3	郵送検診	【目的】 気軽に検査が受けられる 【概要】 病院へ行かずに気軽に簡単に検査結果が判明する	全て	男女	40 ～ -	被保険者,被扶養者	699	令和5年度 検診項目数11：77名 予算100名見込	外部委託事業	－	5
	3	歯周病リスク検査	【目的】 歯周病が体内に悪影響を与えることから早期発見と治療を促すこと 【概要】 検査キットにて手軽に検査結果が判明する	全て	男女	40 ～ -	被保険者	450	令和5年度 受診者数：被保険者159名 予算50名見込	見込数以上の申込者数で歯周病への関心が高いことがわかった。	この結果を受けて、歯科への受診を促すこと	5
体育奨励	8	カフェポイント原資	-	一部の事業所	男女	20 ～ -	被保険者	5,000	体育施設利用の費用負担を一定の割合で負担	外部委託事業	－	5
その他	8	カフェポイント原資	健康管理や健康維持・増進に活用してもらう	一部の事業所	男女	20 ～ -	被保険者	13,000	人間ドック、家庭用常備薬の購入、インフルエンザ予防接種費用（被扶養者）等の費用負担を一定の割合で負担	外部委託事業	－	5
	8	カフェポイント原資	-	一部の事業所	男女	20 ～ -	被保険者	1,100	ホテル、旅館、公共の宿等を利用した費用を一定の割合で負担	外部委託事業	－	5

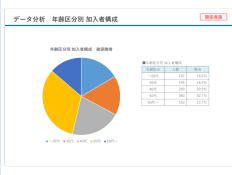
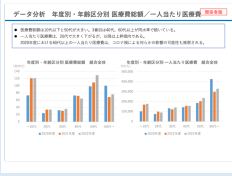
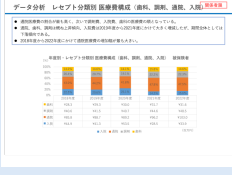
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

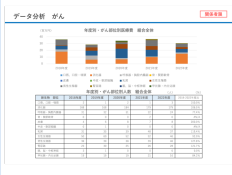
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

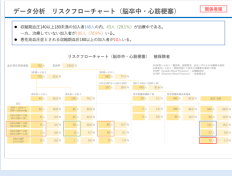
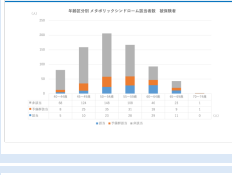
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		年齢区分別 加入者構成	加入者構成の分析	-
イ		年度別・年齢区分別医療費総額／一人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
ウ		レセプト分類別医療費構成（歯科、調剤、通院、入院）	医療費・患者数分析	-
エ		生活習慣病別医療費	医療費・患者数分析	-
オ		疾病大項目の19分類	医療費・患者数分析	-
カ		上位疾病	医療費・患者数分析	-

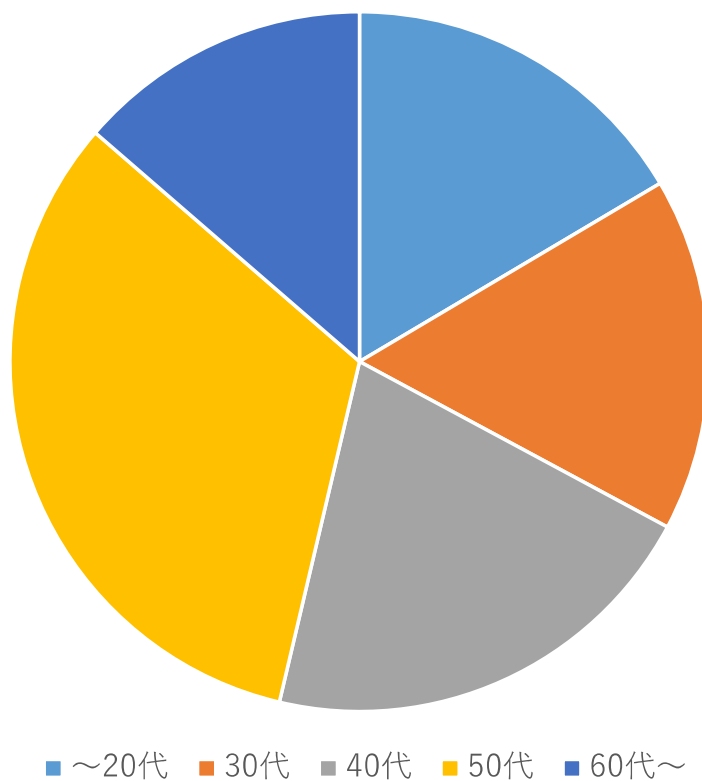
キ		上位疾病（続き）	医療費・患者数分析	-
ク		がん	医療費・患者数分析	-
ケ		メンタル	医療費・患者数分析	-
コ		婦人科系疾患	医療費・患者数分析	-
サ		特定健診受診率	特定健診分析	-
シ		問診回答別の傾向	特定健診分析	-
ス		特定保健指導実施率	特定保健指導分析	-

セ		特定保健指導レベル別人数	特定保健指導分析	-
ソ		リスクフローチャート（糖尿病）	健康リスク分析	-
タ		リスクフローチャート（脳卒中・心筋梗塞）	健康リスク分析	-
チ		CKDマップ（慢性腎臓病）	健康リスク分析	-
ツ		BMI判定分布（健康分布図）	健康リスク分析	-
テ		メタボリックシンドローム該当者	健康リスク分析	-
ト		後発医薬品の使用数、使用率	後発医薬品分析	-

データ分析 年齢区分別 加入者構成

関係者限

年齢区分別 加入者構成 被保険者



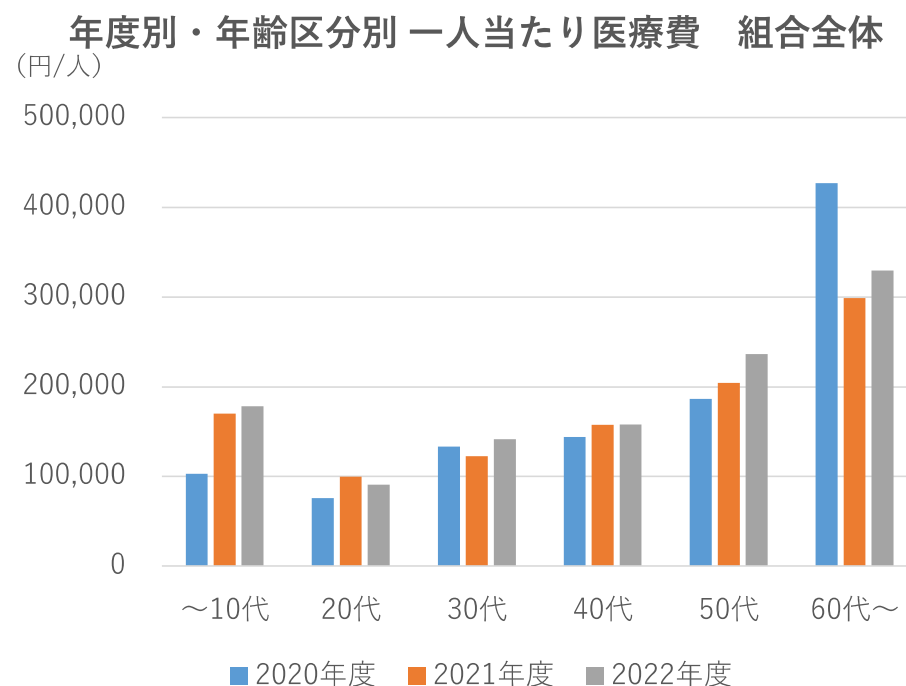
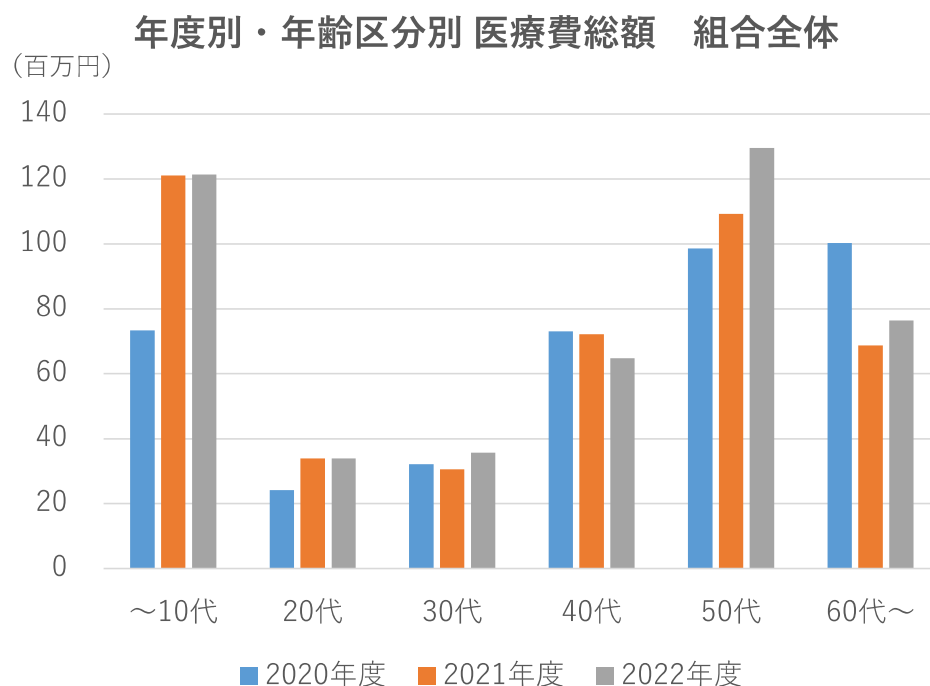
■ 年齢区分別 加入者構成

年齢区分	人数	割合
～20代	197	16.5%
30代	195	16.3%
40代	249	20.9%
50代	390	32.7%
60代～	163	13.7%

データ分析 年度別・年齢区分別 医療費総額／一人当たり医療費

関係者限

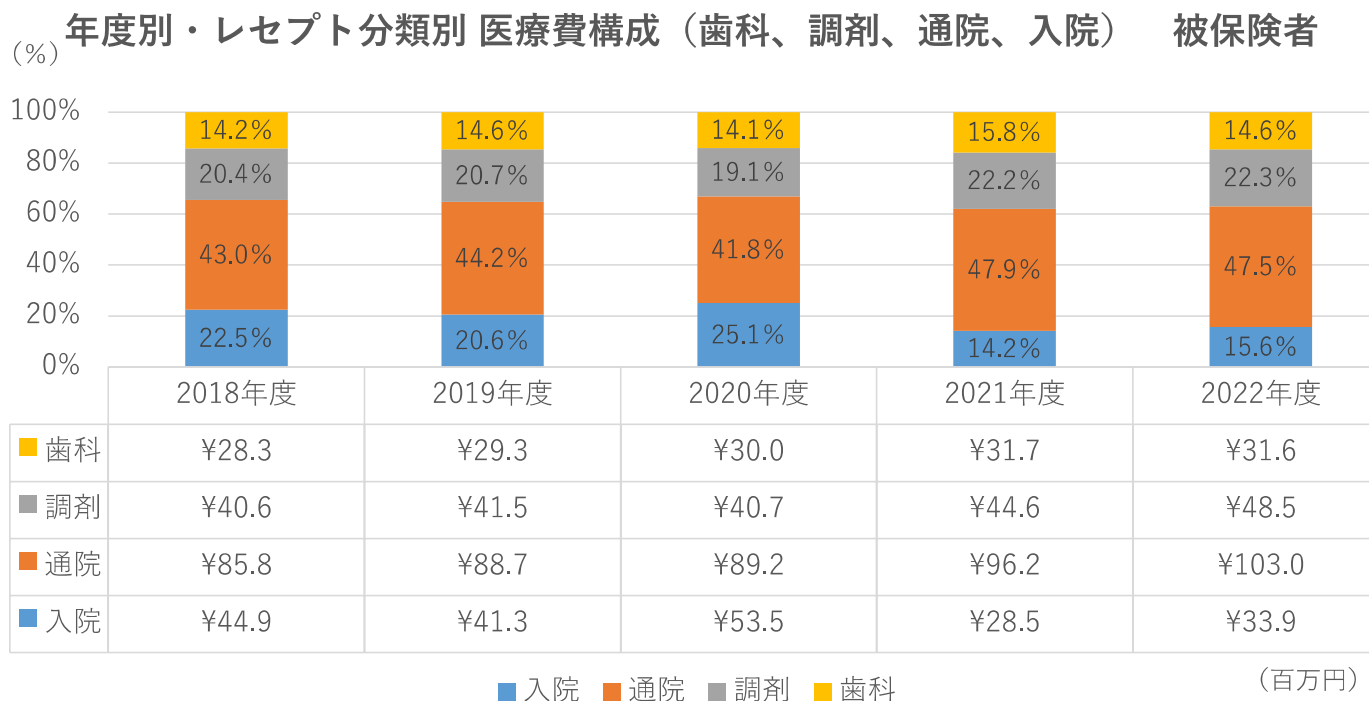
- 医療費総額は10代以下と50代が大きい。3番目は40代、60代以上が同水準で続いている。
- 一人当たり医療費は、20代で大きく下がるが、以降は上昇傾向である。
2020年度における60代以上の一人当たり医療費は、コロナ禍による何らかの影響の可能性も推察される。



データ分析 レセプト分類別 医療費構成（歯科、調剤、通院、入院）

関係者限

- 通院医療費の割合が最も高く、次いで調剤費、入院費、歯科の医療費の順となっている。
- 通院、歯科、調剤は概ね上昇傾向、入院費は2019年度から2021年度にかけて大きく増減したが、期間全体としては下落傾向である。
- 2018年度から2022年度にかけて通院医療費の増加幅が最も大きい。

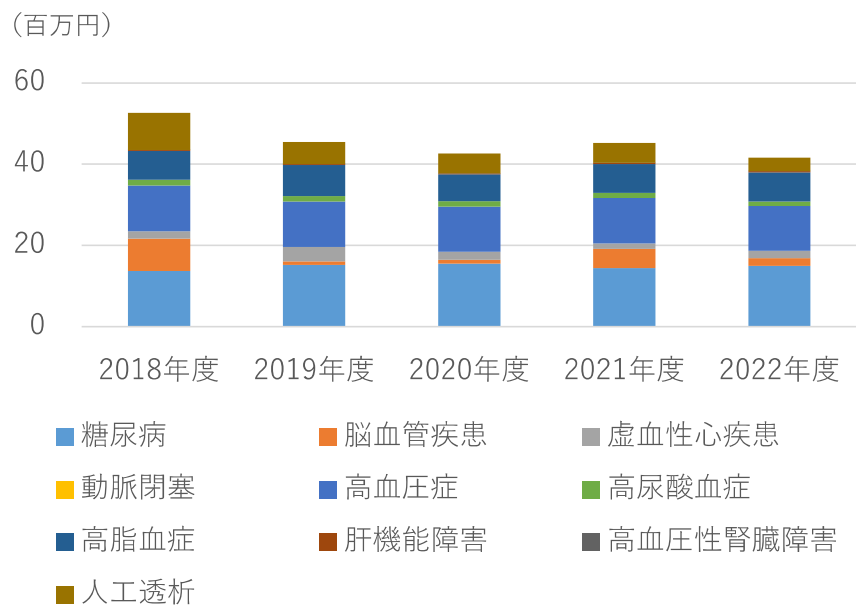


データ分析 生活習慣病別 医療費

関係者限

- 生活習慣病の医療費総額は、2021年度に一旦上昇したが、概ね減少傾向にある。
- 糖尿病、高血圧症、高脂血症は医療費・患者数ともに他の疾患よりも多く、患者数は概ね増加傾向である。肝機能障害、高尿酸血症の患者数も増加している。
- 2021年度には脳血管疾患の医療費・患者数ともに増加し、人工透析と同水準となったが、翌年の2022年度には医療費・患者数ともに減少している。

年度別・生活習慣病別 医療費 組合全体

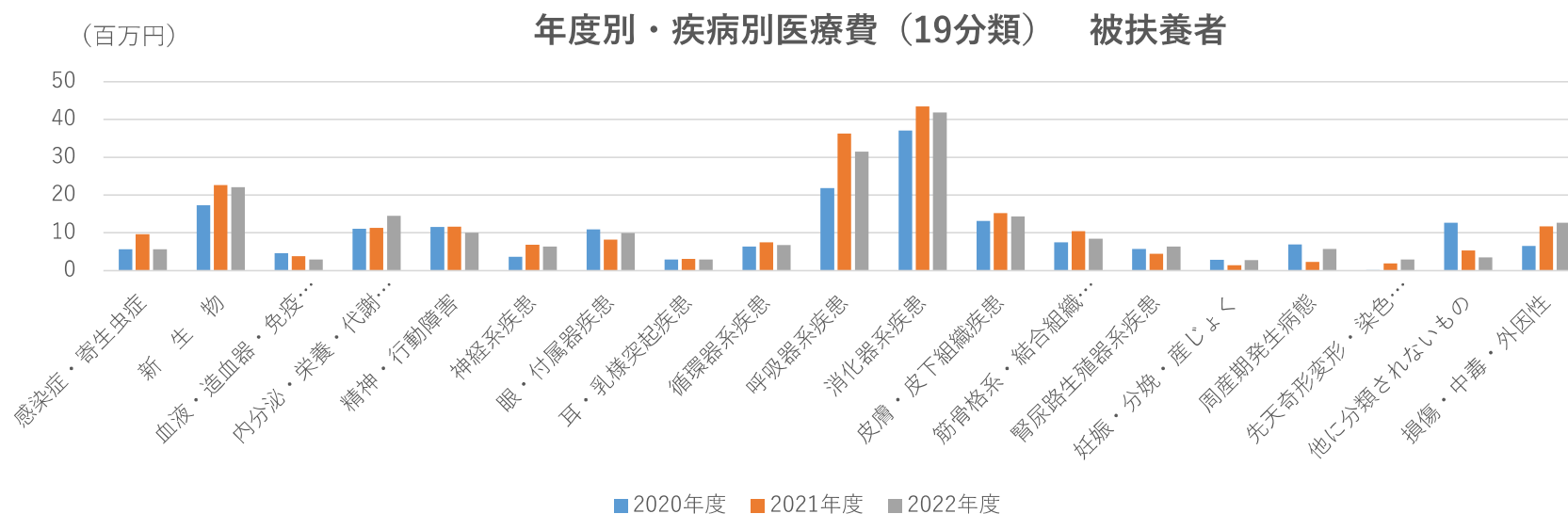
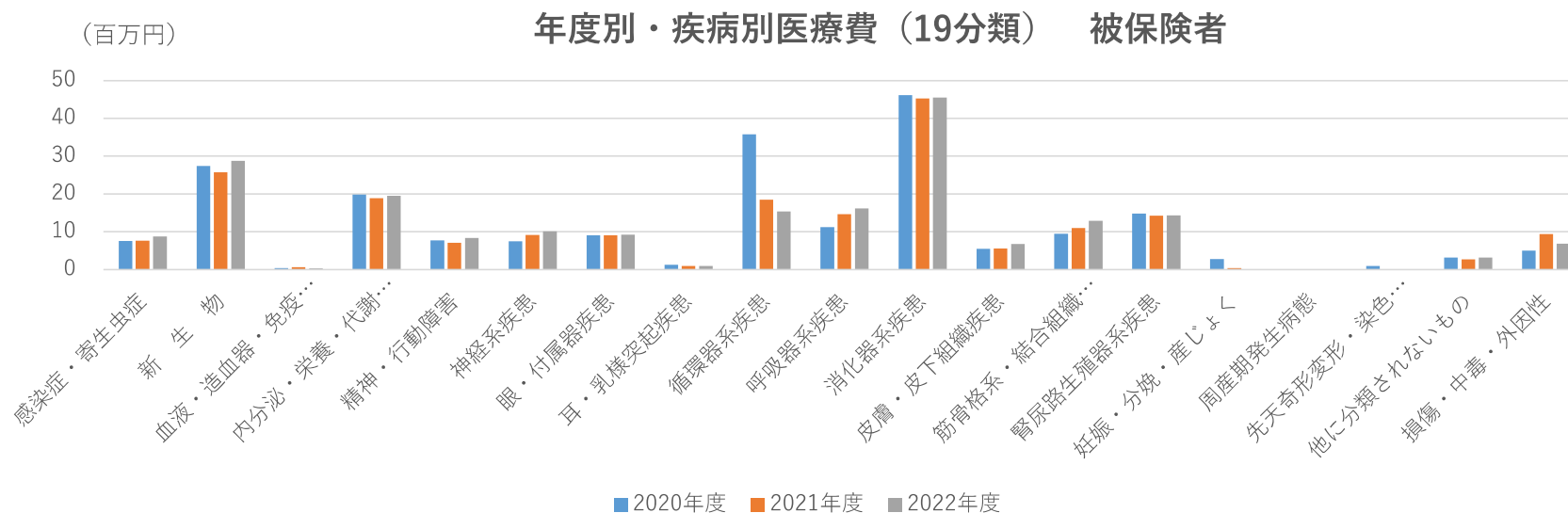


年度別・生活習慣病別 患者数 組合全体

疾病名	(人)					(%)
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2018-2022年度比
糖尿病	309	308	303	315	336	108.7%
脳血管疾患	40	38	27	38	33	82.5%
虚血性心疾患	73	70	64	75	71	97.3%
動脈閉塞	0	0	0	0	0	#N/A
高血圧症	261	260	270	273	288	110.3%
高尿酸血症	84	74	94	88	94	111.9%
高脂血症	314	305	318	312	340	108.3%
肝機能障害	53	69	70	75	74	139.6%
高血圧性腎臓障害	1	3	3	2	2	200.0%
人工透析	2	2	1	1	2	100.0%

データ分析 疾病大項目の19分類

関係者限

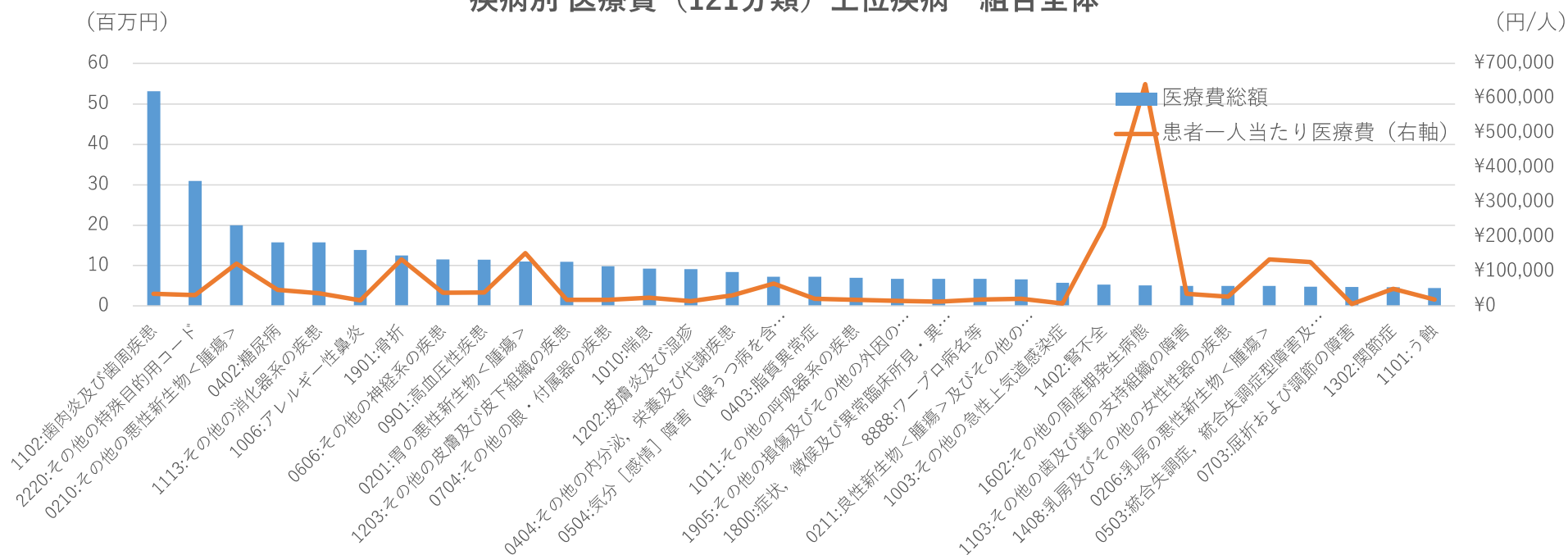


データ分析 上位疾病

関係者限

- 医療費総額は歯科関連疾患（歯肉炎・歯周病）が最も多く、それ以外には各種悪性新生物、各種生活習慣病などがある。
- その他の周産期発生病態、腎不全、胃がん、乳がん、統合失調症などは一人当たり医療費が高い。
- 医療費総額の第2位の「2220：その他～」は新型コロナ関連である。

疾病別 医療費（121分類）上位疾病 組合全体



データ分析 上位疾病（続き）

関係者限

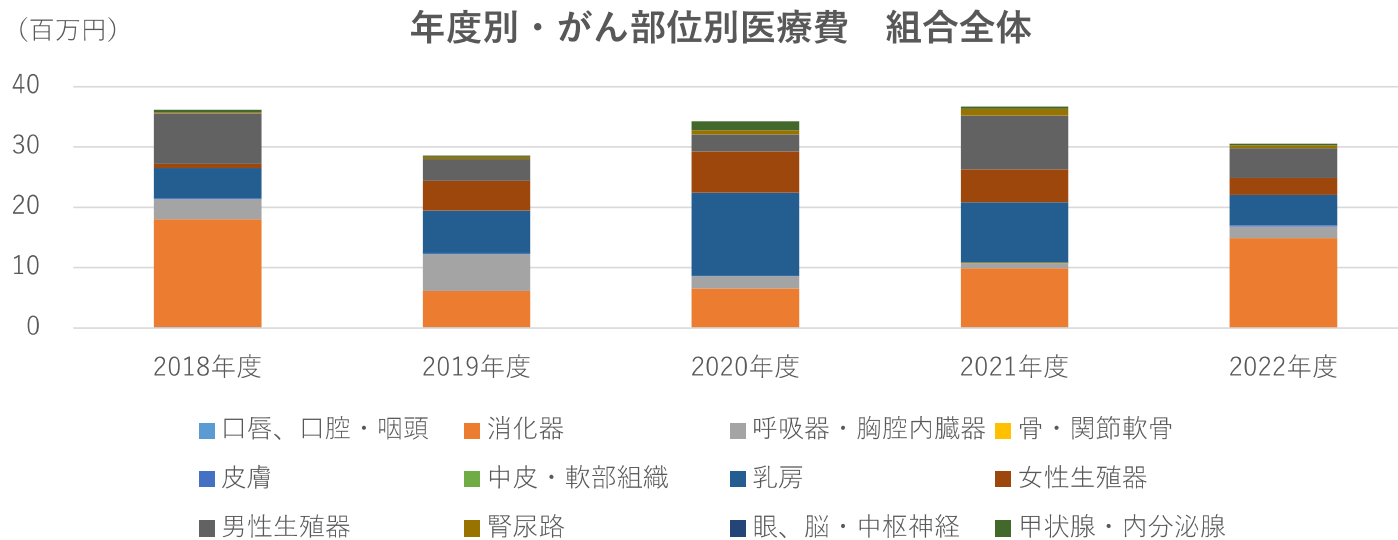
疾病別 医療費（121分類） 上位疾病 組合全体

(円) (人) (円/人)

121分類	医療費総額	人数	患者一人 当たり 医療費	121分類	医療費総額	人数	患者一人 当たり 医療費
1102:歯肉炎及び歯周疾患	53,146,620	1,480	35,910	0403:脂質異常症	7,236,070	344	21,035
2220:その他の特殊目的用コード	30,915,700	974	31,741	1011:その他の呼吸器系の疾患	6,947,760	400	17,369
0210:その他の悪性新生物<腫瘍>	19,994,940	163	122,668	1905:その他の損傷及びその他の外因の影響	6,737,450	447	15,073
0402:糖尿病	15,781,060	336	46,967	1800:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類 されないもの	6,712,220	549	12,226
1113:その他の消化器系の疾患	15,780,240	424	37,218	8888:ワープロ病名等	6,707,060	357	18,787
1006:アレルギー性鼻炎	13,830,600	852	16,233	0211:良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	6,558,670	313	20,954
1901:骨折	12,528,660	93	134,717	1003:その他の急性上気道感染症	5,753,530	813	7,077
0606:その他の神経系の疾患	11,543,140	299	38,606	1402:腎不全	5,305,470	23	230,673
0901:高血圧性疾患	11,475,390	293	39,165	1602:その他の周産期発生病態	5,117,800	8	639,725
0201:胃の悪性新生物<腫瘍>	10,995,760	72	152,719	1103:その他の歯及び歯の支持組織の障害	5,016,430	140	35,832
1203:その他の皮膚及び皮下組織の疾患	10,916,730	612	17,838	1408:乳房及びその他の女性性器の疾患	4,994,730	184	27,145
0704:その他の眼・付属器の疾患	9,816,460	549	17,881	0206:乳房の悪性新生物<腫瘍>	4,977,050	37	134,515
1010:喘息	9,280,170	396	23,435	0503:統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	4,819,010	38	126,816
1202:皮膚炎及び湿疹	9,115,370	652	13,981	0703:屈折および調節の障害	4,727,450	823	5,744
0404:その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	8,444,430	274	30,819	1302:関節症	4,693,620	94	49,932
0504:気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	7,237,800	112	64,623	1101:う蝕	4,511,430	246	18,339

データ分析 がん

関係者限



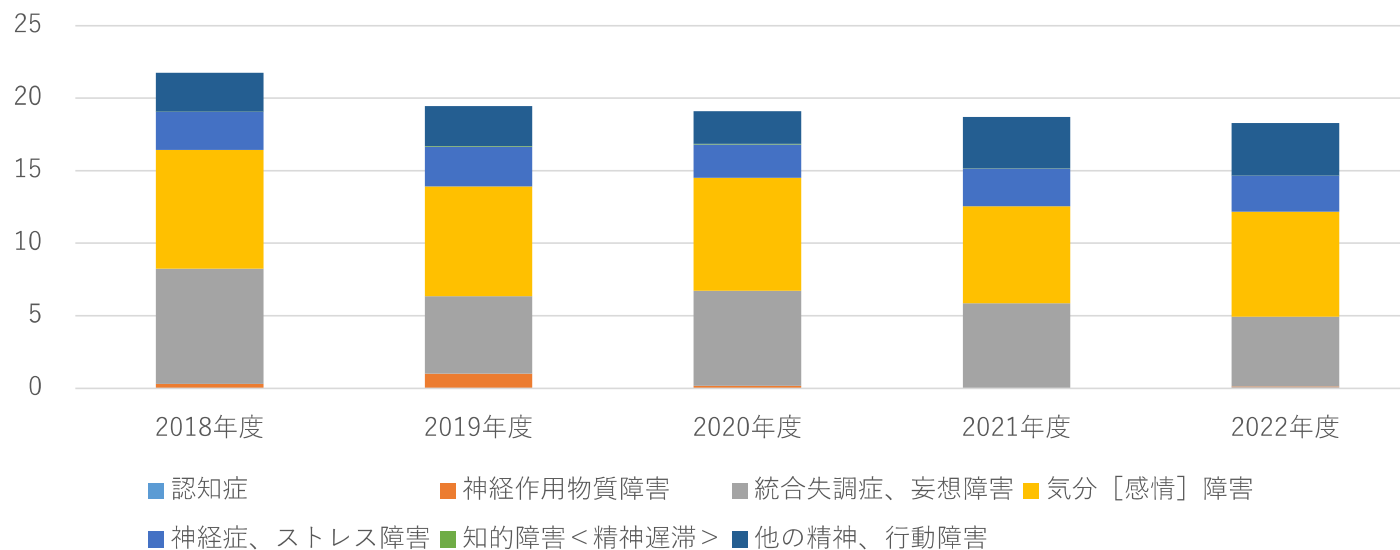
年度別・がん部位別人数 組合全体 (人) (%)

新生物 部位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2018-2022年度比
口唇、口腔・咽頭	2	1	2	1	3	150.0%
消化器	168	168	184	179	179	106.5%
呼吸器・胸腔内臓器	31	32	31	32	24	77.4%
骨・関節軟骨	0	0	0	2	0	#N/A
皮膚	4	6	8	7	8	200.0%
中皮・軟部組織	0	1	0	0	0	#N/A
乳房	31	35	39	48	37	119.4%
女性生殖器	50	60	52	52	46	92.0%
男性生殖器	36	39	38	39	46	127.8%
腎尿路	23	30	25	26	28	121.7%
眼、脳・中枢神経	3	1	0	0	0	0.0%
甲状腺・内分泌腺	19	19	19	21	16	84.2%

データ分析 メンタル

関係者限

(百万円) 年度別・メンタル系医療費（うつ、統合失調症、不安障害） 組合全体

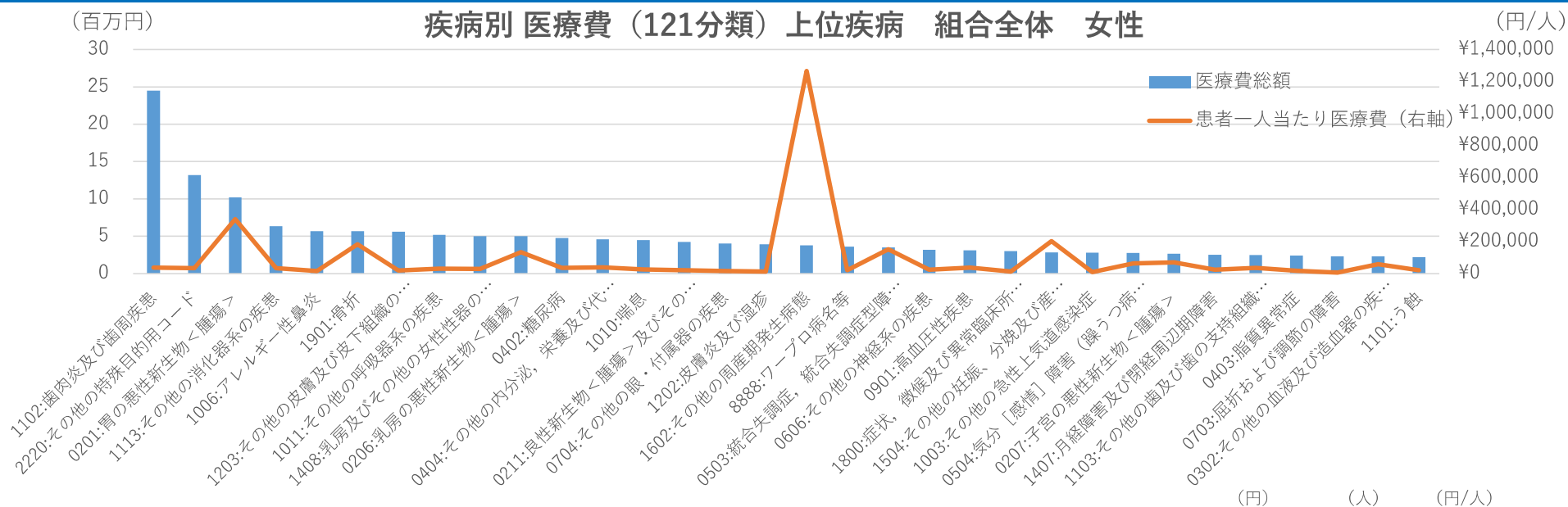


年度別・メンタル系患者数（うつ、統合失調症、不安障害） 組合全体

疾病名	(人)					(%)
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2018-2022年度比
認知症	2	1	1	4	2	100.0%
神経作用物質障害	8	4	6	1	4	50.0%
統合失調症、妄想障害	25	32	35	33	38	152.0%
気分〔感情〕障害	84	89	100	103	112	133.3%
神経症、ストレス障害	108	131	129	150	163	150.9%
知的障害<精神遅滞>	3	6	6	5	1	33.3%
他の精神、行動障害	39	52	52	63	55	141.0%

データ分析 婦人科系疾患

関係者限



121分類	医療費 総額	人数	患者一人当たり 医療費
1102:歯肉炎及び歯周疾患	24,481,830	696	35,175
2220:その他の特殊目的用コード	13,180,890	399	33,035
0201:胃の悪性新生物<腫瘍>	10,209,080	30	340,303
1113:その他の消化器系の疾患	6,322,940	199	31,774
1006:アレルギー性鼻炎	5,659,260	402	14,078
1901:骨折	5,631,040	31	181,646
1203:その他の皮膚及び皮下組織の疾患	5,587,150	315	17,737
1011:その他の呼吸器系の疾患	5,174,660	176	29,401
1408:乳房及びその他の女性性器の疾患	4,991,850	183	27,278
0206:乳房の悪性新生物<腫瘍>	4,977,050	37	134,515
0402:糖尿病	4,754,100	141	33,717
0404:その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4,568,920	125	36,551
1010:喘息	4,459,670	179	24,914
0211:良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	4,216,810	220	19,167
0704:その他の眼・付属器の疾患	4,035,120	288	14,011
1202:皮膚炎及び湿疹	3,929,120	332	11,835

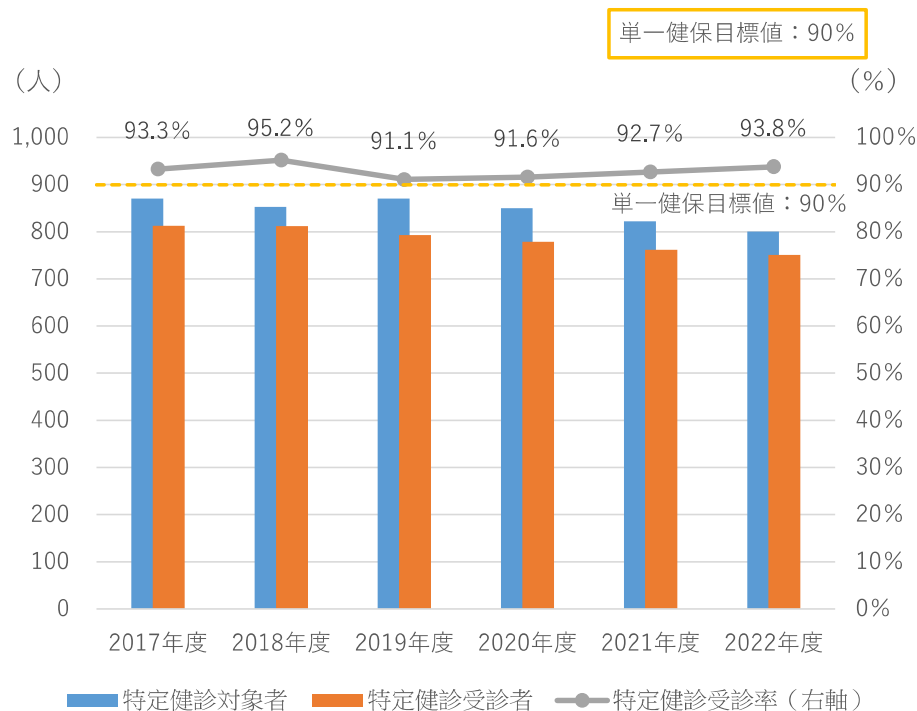
121分類	医療費 総額	人数	患者一人当たり 医療費
1602:その他の周産期発生病態	3,795,690	3	1,265,230
8888:ワープ病名等	3,572,950	186	19,209
0503:統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	3,476,180	23	151,138
0606:その他の神経系の疾患	3,160,130	139	22,735
0901:高血圧性疾患	3,103,160	89	34,867
1800:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,996,820	273	10,977
1504:その他の妊娠、分娩及び産じょく	2,811,100	14	200,793
1003:その他の急性上気道感染症	2,796,430	371	7,538
0504:気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	2,753,850	44	62,588
0207:子宮の悪性新生物<腫瘍>	2,642,630	38	69,543
1407:月経障害及び閉経周辺期障害	2,522,040	115	21,931
1103:その他の歯及び歯の支持組織の障害	2,483,840	74	33,565
0403:脂質異常症	2,395,160	144	16,633
0703:屈折および調節の障害	2,314,520	409	5,659
0302:その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,286,430	39	58,626
1101:う蝕	2,206,430	110	20,058

データ分析 特定健診受診率

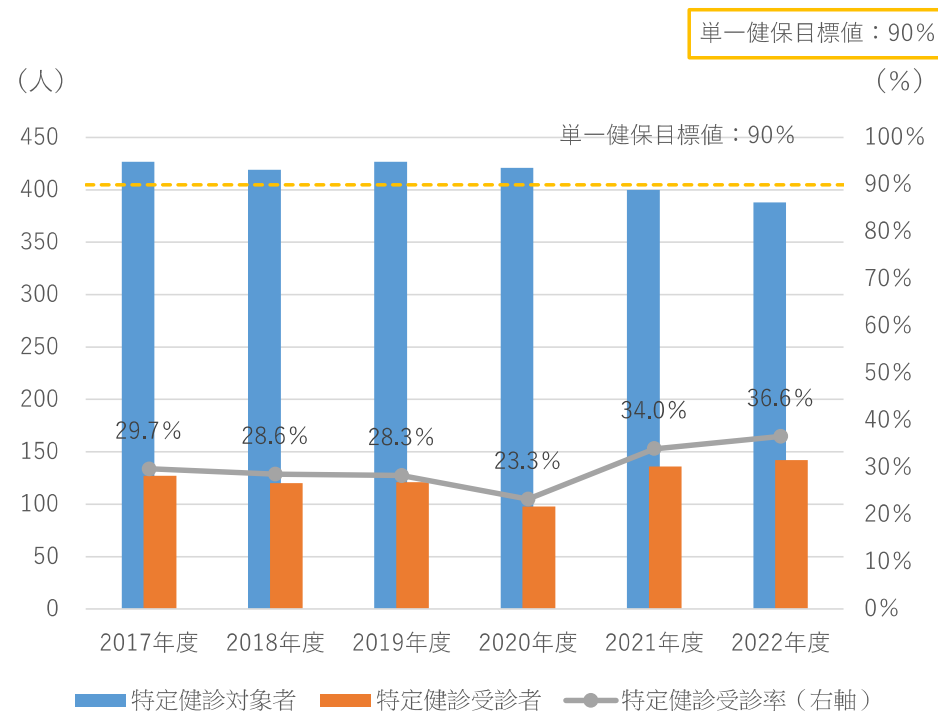
関係者限

- 被保険者の特定健診受診率は2017年度から2022年度まで全て90%以上で目標を満たしている。
- 被扶養者の特定健診受診率は2017年度から2022年度まで20%から30%台で推移しており、目標を満たしていない。

年度別 特定健診受診率 被保険者



年度別 特定健診受診率 被扶養者

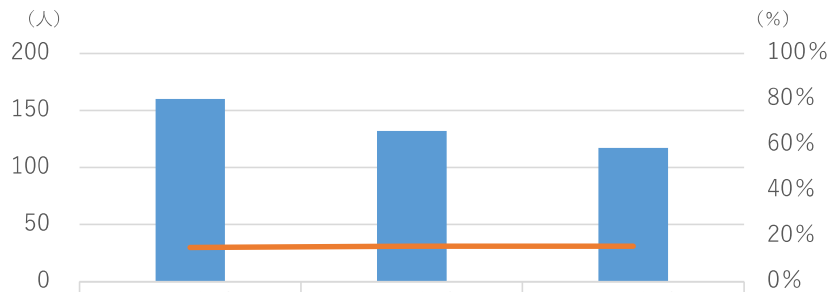


データ分析 問診回答別の傾向

関係者限

問診回答 喫煙

<被保険者> 喫煙率の推移

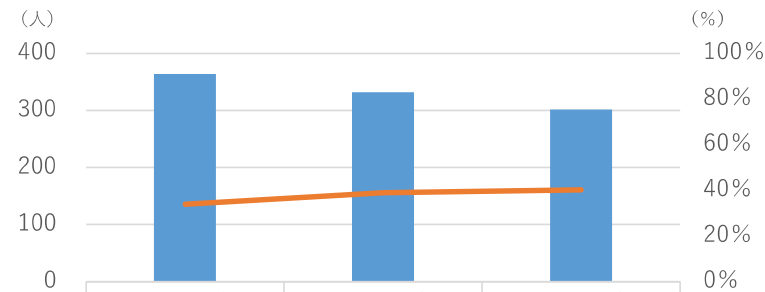


喫煙者数	160人	132人	117人
喫煙率 (右軸)	14.9%	15.5%	15.5%

■ 喫煙者数 — 喫煙率 (右軸)

問診回答 体重

<被保険者> 20歳の時から10kg以上の体重の増加

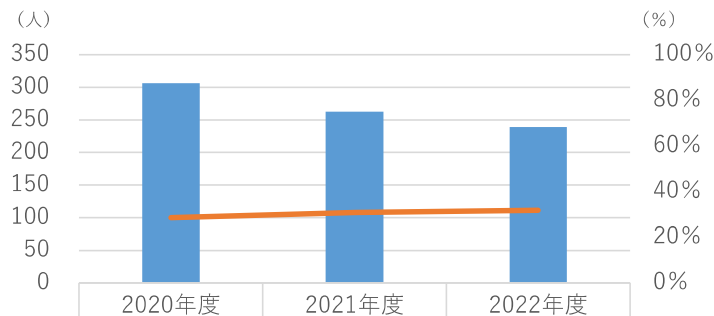


体重増加人数	364人	332人	302人
体重増加者率 (右軸)	34.0%	38.9%	40.2%

■ 体重増加人数 — 体重増加者率 (右軸)

問診回答 運動

<被保険者> 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施

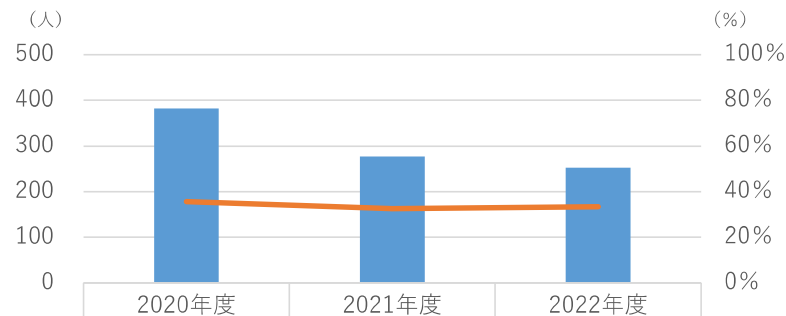


運動習慣あり人数	306人	263人	239人
運動習慣あり割合 (右軸)	28.6%	30.8%	31.7%

■ 運動習慣あり人数 — 運動習慣あり割合 (右軸)

問診回答 食事

<被保険者> 人と比較して食べる速度が速い



早食い人数	382人	277人	252人
早食い割合 (右軸)	35.7%	32.4%	33.5%

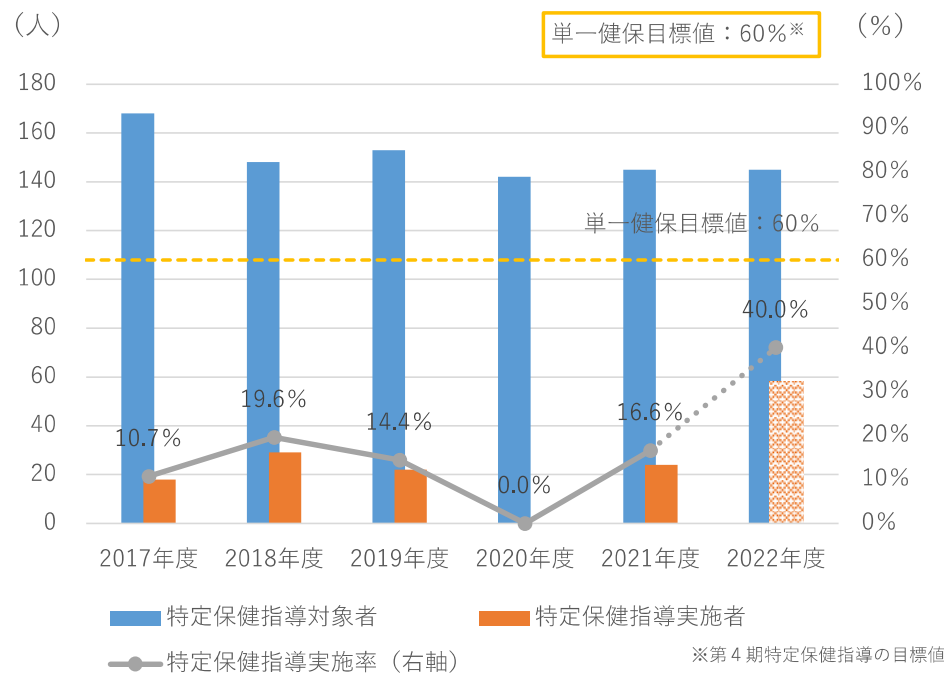
■ 早食い人数 — 早食い割合 (右軸)

データ分析 特定保健指導実施率

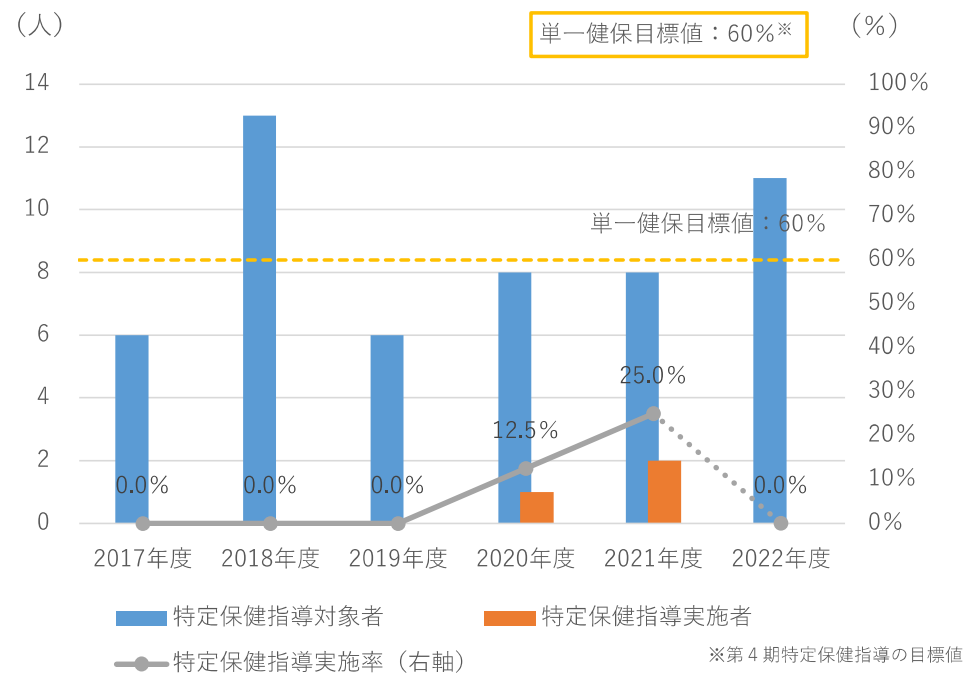
関係者限

- 被保険者の特定保健指導実施率は2020年度は0%だが、それ以外は20%以下で推移している。目標は達成していない。
- 被扶養者の特定保健指導実施率は2019年度まで0%が続き、その後2021年度には25.0%に上昇している。目標は達成していない。
- 被保険者の特定保健指導対象者は概ね減少傾向である。被扶養者の特定保健指導対象者は2019年以降概ね増加傾向である。

年度別 特定保健指導実施率 被保険者

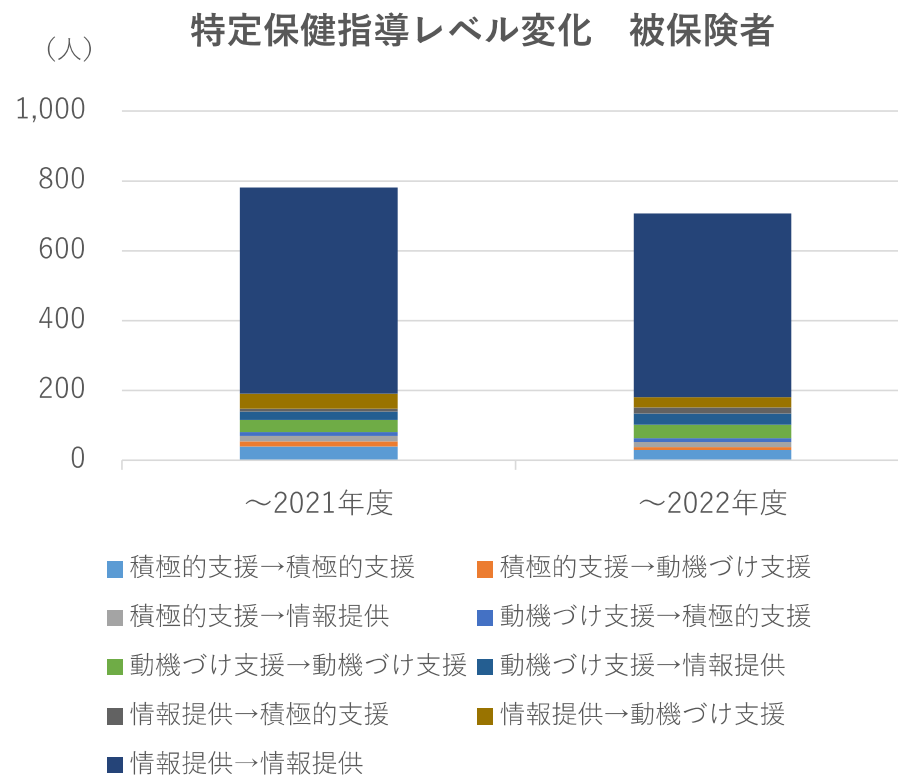
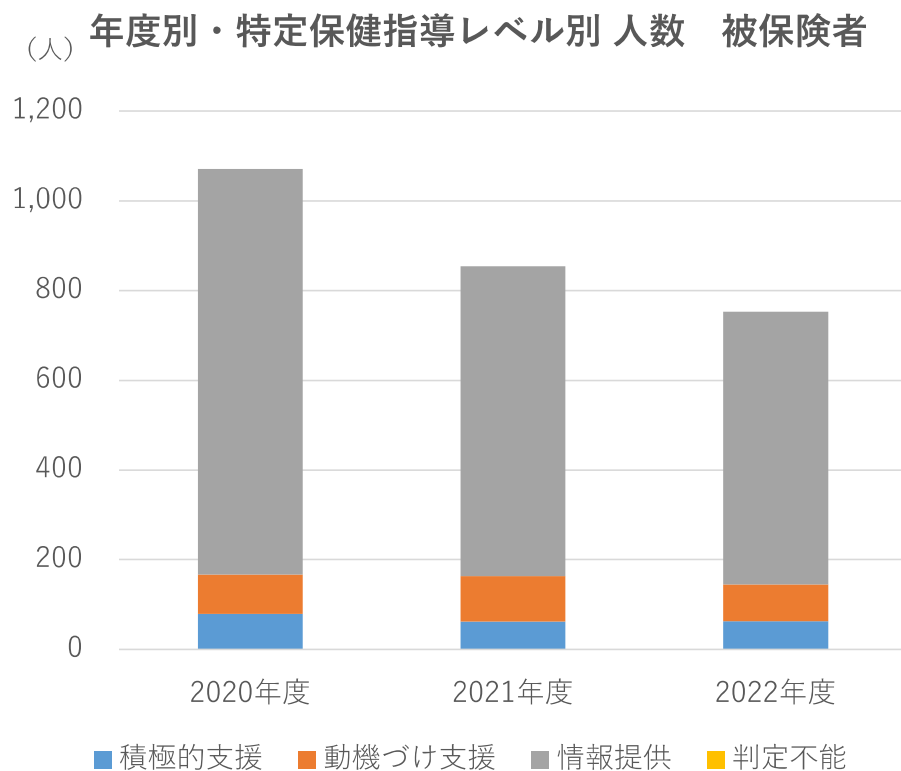


年度別 特定保健指導実施率 被扶養者



データ分析 特定保健指導レベル別人数

関係者限

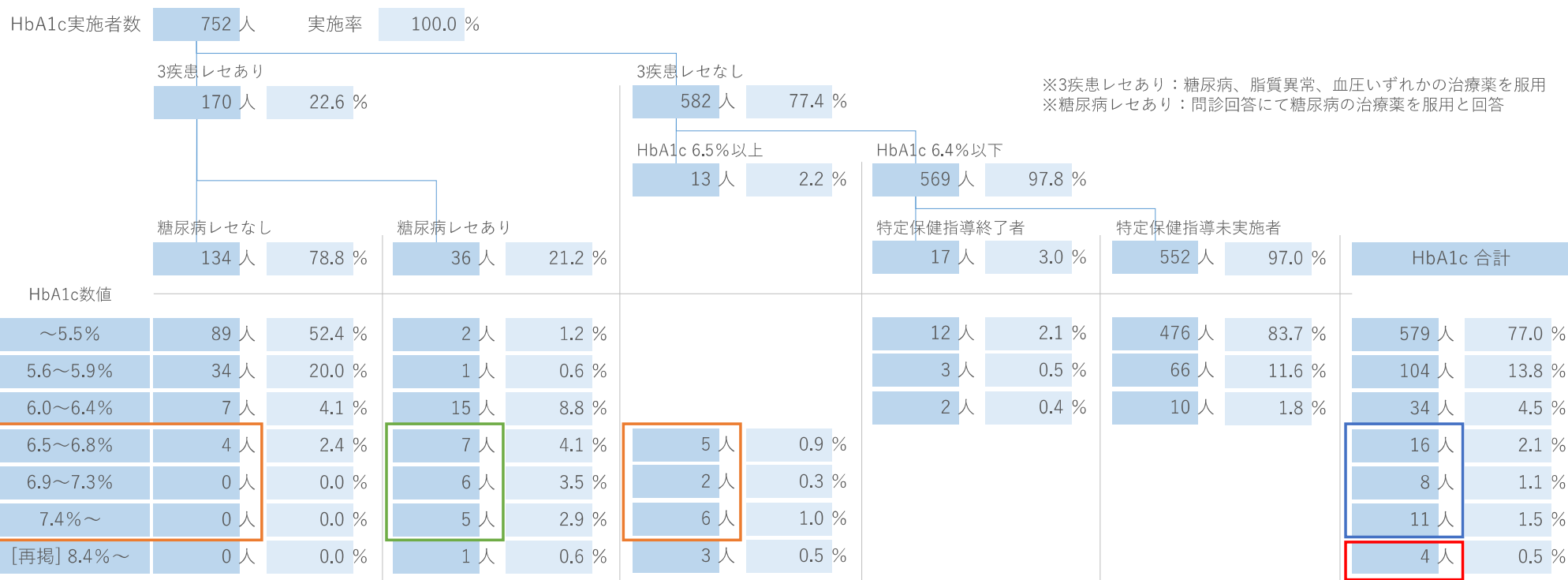


データ分析 リスクフローチャート（糖尿病）

関係者限

- HbA1cが6.5%以上の加入者35人の内、18人（51.4%）が治療中である。
一方、治療していない加入者が17人（48.6%）いる。
- 糖尿病合併症が進行しやすいHbA1c8.4%以上の加入者が4人いる。

リスクフローチャート（糖尿病） 被保険者

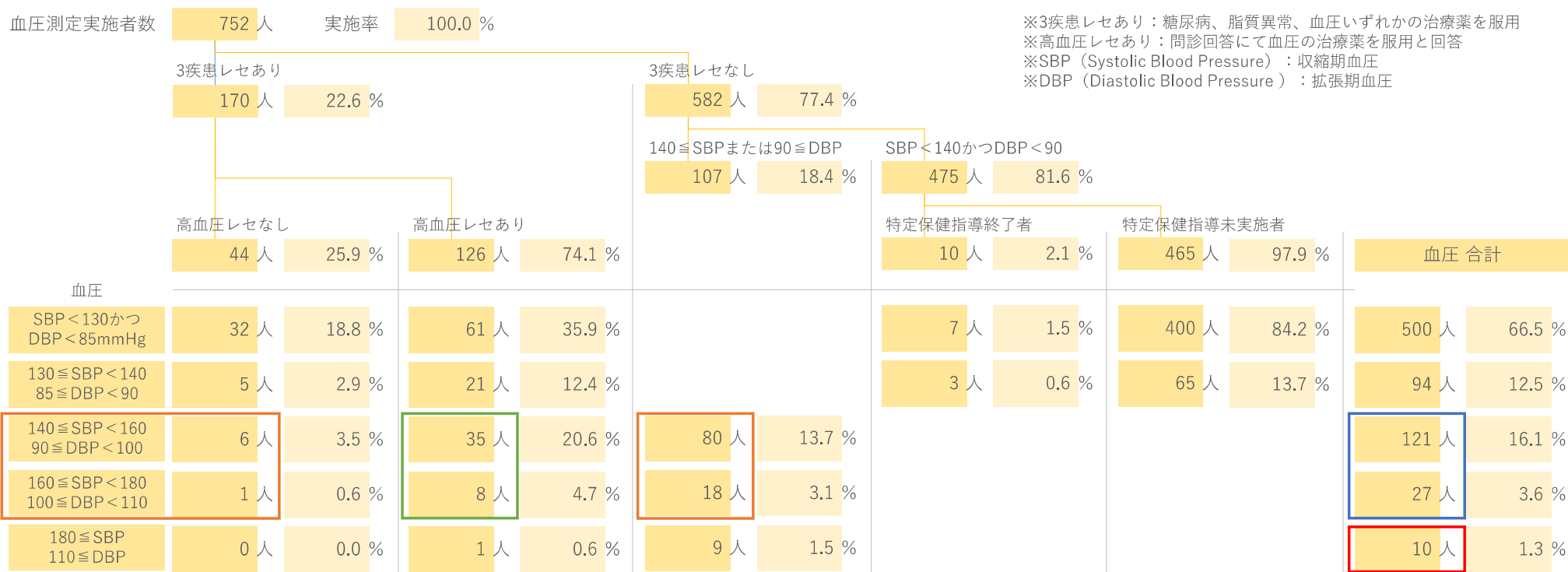


データ分析 リスクフローチャート（脳卒中・心筋梗塞）

関係者限

- 収縮期血圧140以上180未満の加入者148人（内、43人（29.1%）が治療中である。
一方、治療していない加入者が105人（70.9%）いる。
- 悪性高血圧症とされる収縮期血圧180以上の加入者が10人いる。

リスクフローチャート（脳卒中・心筋梗塞） 被保険者



データ分析 CKDマップ（慢性腎臓病）

関係者限

- 受診勧奨判定値の該当者は28人。これは受診者730人中の3.8%。
- 保健指導判定値の該当者は72人存在。このうち、要注意とされる、GFR区分がG3aで、尿蛋白が（±）および（－）の該当者は70人（保健指導判定値該当者の97.2%）。

CKDマップ（慢性腎臓病） 被保険者

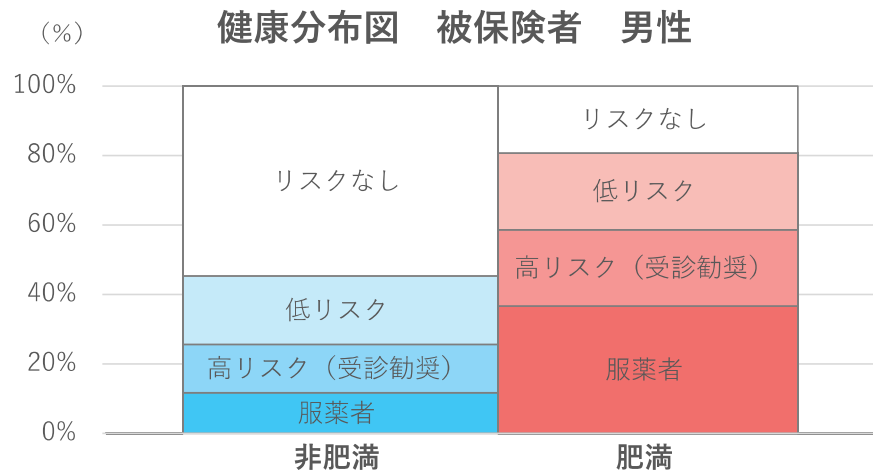
GFR区分 (mL/分/1.73m ²)		G1	G2	G3 a	G3 b	G4	G5
		正常または 高値	正常または 軽度低下	軽度～ 中等度低下	中等度～ 高度低下	高度低下	末期腎不全
尿蛋白		≥ 90	60～89	45～59	30～44	15～29	< 15
尿蛋白 (+) 以上	人 数	1	15	4	0	2	0
	割 合	0.1%	2.1%	0.5%	0.0%	0.3%	0.0%
尿蛋白 (±)	人 数	0	2	1	0	0	0
	割 合	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
尿蛋白 (－)	人 数	73	557	69	6	0	0
	割 合	10.0%	76.3%	9.5%	0.8%	0.0%	0.0%

凡例 □基準範囲内 □保健指導判定値 □受診勧奨判定値

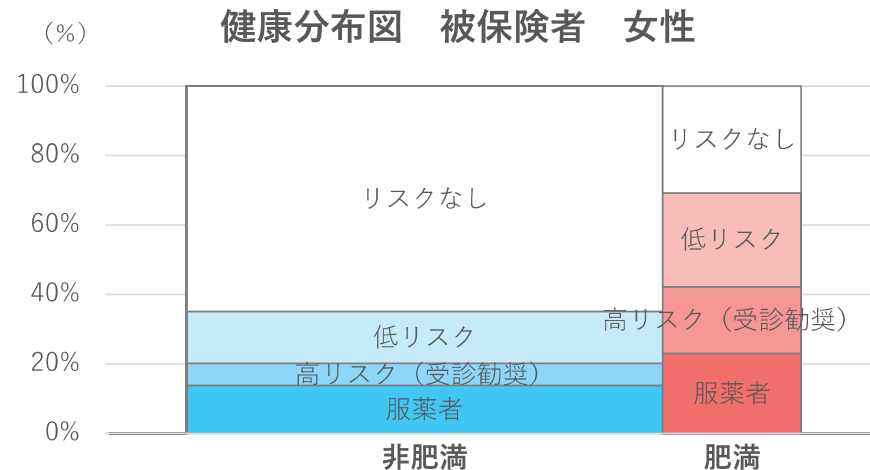
データ分析 BMI判定分布（健康分布図）

関係者限

- 男性の肥満該当のうち、リスク保有者（低リスクと高リスク）は約44%いる。非肥満でもリスク保有者は約34%いる。
- 女性では、肥満該当のうちリスク保有者は約46%いる。非肥満該当でもリスク保有者は約21%いる。



リスク区分	非肥満	肥満
リスクなし	54.7%	19.2%
低リスク	19.6%	22.2%
高リスク（受診勧奨）	13.9%	21.9%
服薬者	11.8%	36.8%
合計	100.0%	100.0%



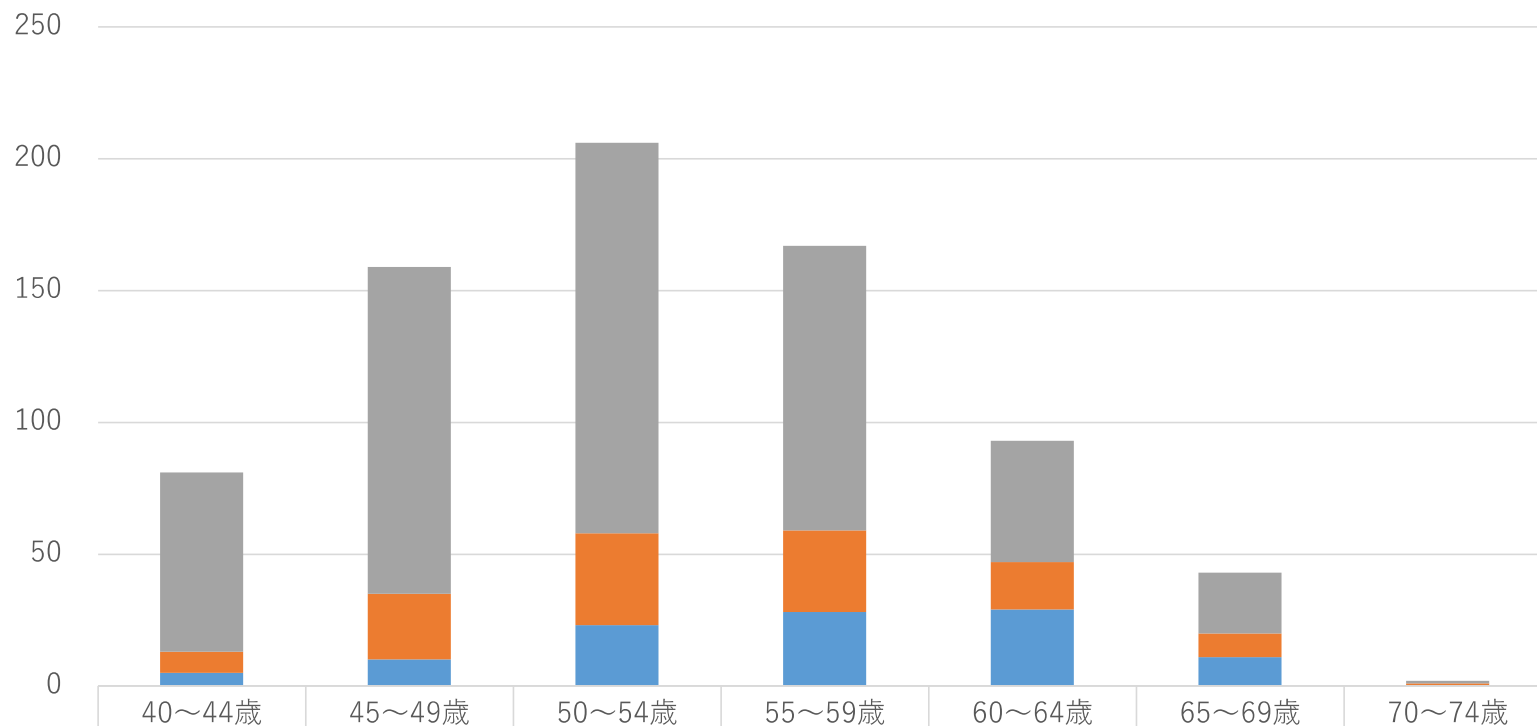
リスク区分	非肥満	肥満
リスクなし	64.9%	30.8%
低リスク	14.9%	26.9%
高リスク（受診勧奨）	6.4%	19.2%
服薬者	13.8%	23.1%
合計	100.0%	100.0%

データ分析 メタボリックシンドローム該当者数

関係者限

年齢区分別 メタボリックシンドローム該当者数 被保険者

(人)



	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
■ 非該当	68	124	148	108	46	23	1
■ 予備群該当	8	25	35	31	18	9	1
■ 該当	5	10	23	28	29	11	0

(人)

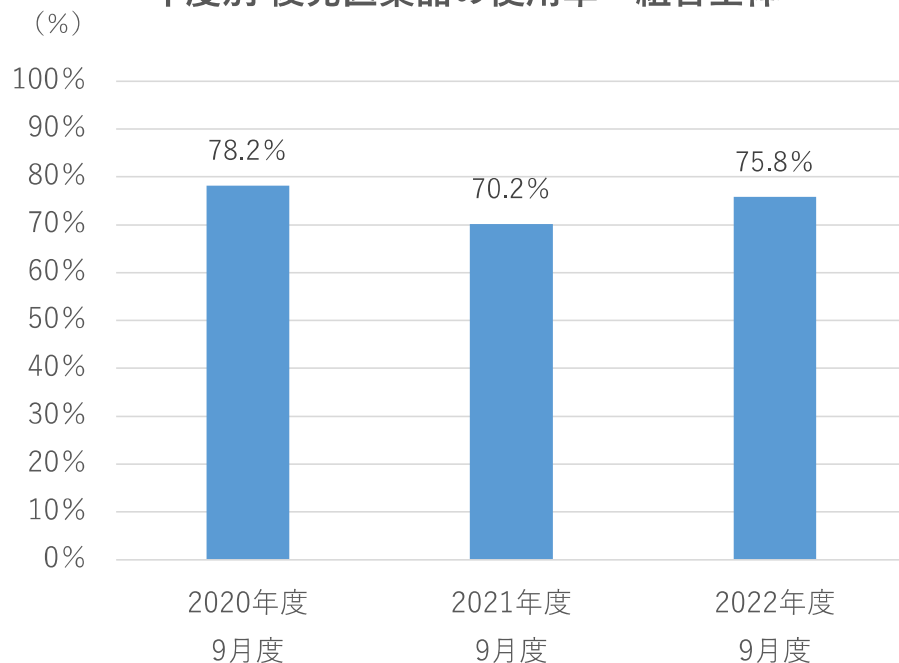
■ 該当 ■ 予備群該当 ■ 非該当

データ分析 後発医薬品の使用数、使用率

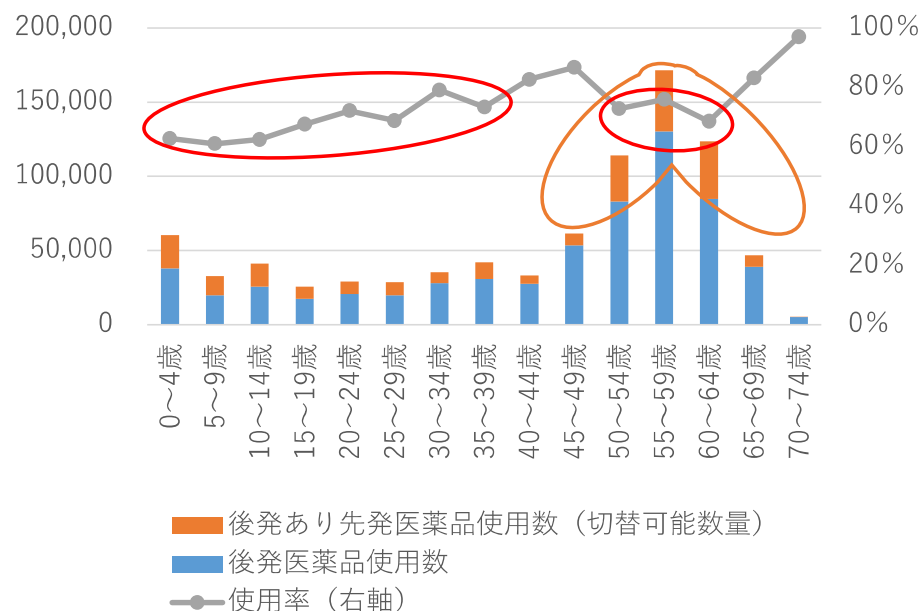
関係者限

- 後発医薬品使用率は2021年度に一旦落ち込んだが、翌年の2022年度には再び上昇している。目標値80%は達成していない。
- **39歳以下および50～69歳**と幅広い年齢層で後発医薬品の使用率が80%以下である。
- **50～64歳**で「切替可能数量」が多い。

年度別 後発医薬品の使用率 組合全体



年齢区分別 後発医薬品の使用数 組合全体



※使用数量は調剤レセプトをもとに以下の式で計算
 使用数量 = 調剤情報レコードの【調剤数量】× 医薬品レコードの【使用量】
 ※2022年度のレセプト管理システムでの集計値

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	カ	・医療費総額において、歯科関連疾患（歯肉炎・歯周病）が多い。	➡	・歯科は予防や健診などを中心に啓蒙活動を含め対策する。	✓
2	サ	・被保険者の特定検診受診率は2022年度まで全て90%以上で目標を満たしている。 ・被扶養者の特定検診受診率は2017年度から2022年度まで20%から30%台で推移しており、目標を満たしていない。	➡	・被保険者に対しては今までの施策を改善しつつ継続する。 ・組合全体の受診率を目標に近づけるために、被扶養者の特定検診受診率を向上させる検討する。 ✓基本的な通知・勧奨の改善 ✓阻害要因の解消 ✓健診期間中での未受診者への対策	✓
3	ス、セ	・被保険者の特定保健指導実施率は2020年度は0%だが、それ以外は20%以下で推移しているが、目標には達成していない。 ・被扶養者の特定保健指導実施率は2019年度まで0%が続き、その後2021年度には25%に上昇しているが、目標に達成していない。 ・被保険者の特定保健指導対象者は概ね減少傾向である。被扶養者の特定保健指導対象者は2019年度以降概ね増加傾向である。	➡	・被保険者への特定保健指導は、現状の施策を改善しつつ維持する。 ・被扶養者の特定保健指導実施率の目標達成のために、指導の参加率を高める施策を中止に行う。 ✓対象者への保健指導対象となった通知の確実な送付、指導への参加勧奨からはじめる。	✓
4	イ	・医療費総額は10代以下と50代が大きい。 3番目は40代、60代以上が同水準で続いている。 ・一人当たり医療費は、20代で大きく下がるが、以降は上昇傾向である。 2020年度における60代以上の一人当たり医療費は、コロナ禍による何らかの影響の可能性も推察される。	➡	・医療費総額、一人当たり医療費がともに高い50代を中心に、医療費削減のための対策を進める。 ・10代以下は被扶養者が多くいたために、直接的な働きかけが難しいため、ポピュレーションアプローチを中心とする。 ・一人当たり医療費の40代から50代以降の伸びを考えると30代から早めの予防対処を進める。	
5	ソ	・HbA1cが6.5%以上の加入者の35人の内、18人（51.4%）が治療中である。 一方、治療していない加入者が17人（48.6%）いる。 ・糖尿病合併症が進行しやすいHbA1c8.4%以上の加入者も4人いる。	➡	・高血糖の加入者のうち、「糖尿病レセなし」の加入者へは受診勧奨の継続と強化を図り、「糖尿病レセあり」の人数を増やす。 ・特にHbA1c8.4%以上の加入者は、疾患レセの有無にかかわらず西優先に受診勧奨や重症化予防の対象者とする。	✓
6	タ	・収縮期血圧140以上180未満の加入者148人の内、43人（29.1%）が治療中である。 一方、治療していない加入者が105人（70.9%）いる。 ・悪性高血圧症とされる収縮期血圧180以上の加入者が10人いる。	➡	・高血圧の加入者のうち、「高血圧レセなし」の加入者へは受診勧奨の継続と強化を図り、「高血圧レセあり」の人数を増やす。 ・治療・服薬の中断を防止するために、継続的な受診勧奨となるよう取り組む。 ・特に収縮期血圧が180以上の加入者は、疾患レセの有無にかかわらず最優先に受診勧奨や重症化予防の対象者とする。	✓

基本情報

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点
-----	----	--------------

1	・小規模な健保組合（被保険者数1,252人、加入者数2,556人）である。 ・被保険者は男性の方が多いが、被扶養者は女性の方が多い。 ・事業主の拠点は大阪。 ・40代後半から50代に加入者構成が偏っている。 ・当健保組合には、医療専門職が不在。	➡	・医療専門職が不在であるため、保健指導実施率向上にむけた取り組みが委託業者に頼ざる得ないため指導対象者への受診アプローチが課題。 ・一方、小規模な単一健保組合であることから事業主をかいした保健指導実施率向上に向けた取り組み可能。
2	・被保険者の特定健康指導実施率が低い。 ・被扶養者の特定健康検査実施率が低い。	➡	・被保険者の特定保健指導実施率向上むけたアプローチの課題。 ・被扶養者の特定健康検査実施率向上にむけたアプローチの課題。
3	・医療費総額においては10代以下と50代が大きい。 ・つぎに40代、60代と同水準で大きい。	➡	被扶養者へのアプローチの方法が課題である。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・健康教育としての被保険者向けの健康誌、子育て支援としての育児指導書、高齢者及び新入社員への健康管理ガイドなど幅広い年齢層に対応している。 ・人間ドック、胃健診及び郵送健診など健診項目は充実。 ・40歳以上の疾病予防として歯周病リスク検査を実施。	➡	・機関誌等の広報媒体がどの程度活用されているが課題。 ・人間ドックなど健診の受診者が固定化及び受診者の伸び悩みが課題 ・受診者増に向けた方策が課題。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

- 生活習慣を改善するための特定検診、特定保健指導であり、また口腔保健の取組は全身の健康を守ることになり、当該事業を推進することで健康的な生活を維持できることを目的とします。
- 歯周病リスク検査を促し関連がある生活習慣病への予防としたい。
- 重症化予防への取り組みを行う。

事業全体の目標

- 被扶養者の特定検診受診率を停滞させるのではなく、年々アップしていくよう目指す。
- 特定保健指導受けることで生活習慣病の予防になるため実施率のアップを目指す。
- 歯周病が生活習慣病にも関連していることの知識を広め、40歳以上の歯周病リスク健診の受診者のアップを目指す。
- 重症化予防として介入対象者リストを作成し、対象者の管理を行う。

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	保健だより等
保健指導宣伝	健康管理情報誌
保健指導宣伝	育児指導書
保健指導宣伝	健康保険ガイドブック
保健指導宣伝	高齢者向け健康管理誌
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	無受診者表彰
保健指導宣伝	健康セミナー（コレボヘルス）
保健指導宣伝	生活習慣病の改善に向けた情報提供
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定健康診査事業	特定健康診査受診勧奨
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	後発医薬品の差額通知
疾病予防	人間ドック（1泊2日）
疾病予防	人間ドック（半日・年齢別）
疾病予防	人間ドック（半日）
疾病予防	脳ドックと半日ドック
疾病予防	胃X線検診
疾病予防	胃精検
疾病予防	健康電話相談
疾病予防	骨密度検査
疾病予防	婦人科検診
疾病予防	重症化予防
疾病予防	禁煙サポート
疾病予防	前期高齢者向け電話保健指導
疾病予防	郵送健診
疾病予防	歯周病リスク検査
疾病予防	カフェポイント原資
体育奨励	カフェポイント原資
その他	カフェポイント原資

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
保健指導 宣伝	5	既存	健保だより等	全て	男女	20 ～ (上限なし)	被保険者	1	ス	-	シ	-	620	650	650	650	650	650	・健康等に関する情報提供 ・予算書、決算書の周知及び規程改正等の公告	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													・被保険者に予算や決算及び健康情報が記載された情報誌を４月及び９月の２回発送。	・被保険者に予算や決算及び健康情報が記載された情報誌を４月及び９月の２回発送。	・被保険者に予算や決算及び健康情報が記載された情報誌を４月及び９月の２回発送。	・被保険者に予算や決算及び健康情報が記載された情報誌を４月及び９月の２回発送。	・被保険者に予算や決算及び健康情報が記載された情報誌を４月及び９月の２回発送。	・被保険者に予算や決算及び健康情報が記載された情報誌を４月及び９月の２回発送。		
	健保だより配布(【実績値】２回　【目標値】令和6年度：２回　令和7年度：-回　令和8年度：-回　令和9年度：-回　令和10年度：-回　令和11年度：-回)・年２回発行するリーフレットにおいて、当健保組合の予算や決算について被保険者等へ周知													健康等への理解(【実績値】６回　【目標値】令和6年度：-回　令和7年度：-回　令和8年度：-回　令和9年度：-回　令和10年度：-回　令和11年度：-回)予算や決算の告知だけでなく、被保険者の方へ必要な情報を発信						
すこやかファミリー配布(【実績値】２回　【目標値】令和6年度：２回　令和7年度：-回　令和8年度：-回　令和9年度：-回　令和10年度：-回　令和11年度：-回)・年２回発行するリーフレットにおいて、季節に応じた健康情報、その他健康に関するについて被保険者等へ周知																				
5	既存	健康管理情報誌	全て	男女	20 ～ (上限なし)	被保険者	1	ス	-	シ	-	606	650	650	650	650	650	健康の保持増進及び医療費の適正化	該当なし	
												・被保険者に健康情報が記載された情報誌を８月及び１月の２回発送。	・被保険者に健康情報が記載された情報誌を８月及び１月の２回発送。	・被保険者に健康情報が記載された情報誌を８月及び１月の２回発送。	・被保険者に健康情報が記載された情報誌を８月及び１月の２回発送。	・被保険者に健康情報が記載された情報誌を８月及び１月の２回発送。	・被保険者に健康情報が記載された情報誌を８月及び１月の２回発送。			
-													なじまないため (アウトカムは設定されていません)							
5	既存	育児指導書	全て	男女	20 ～ (上限なし)	基準該当者	1	ス	妊娠４ヶ月以上から申込み可能。また、扶養されていない妻の出産の場合でも、被保険者は申込み可能。	シ	社内webと事業主側の担当者から周知	206	250	250	250	250	250	子育てなどに必要な情報を提供	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
												・妊娠４ヶ月以上から申込み可能。また、扶養されていない妻の出産の場合でも、被保険者は申込み可能。	・妊娠４ヶ月以上から申込み可能。また、扶養されていない妻の出産の場合でも、被保険者は申込み可能。	・妊娠４ヶ月以上から申込み可能。また、扶養されていない妻の出産の場合でも、被保険者は申込み可能。	・妊娠４ヶ月以上から申込み可能。また、扶養されていない妻の出産の場合でも、被保険者は申込み可能。	・妊娠４ヶ月以上から申込み可能。また、扶養されていない妻の出産の場合でも、被保険者は申込み可能。	・妊娠４ヶ月以上から申込み可能。また、扶養されていない妻の出産の場合でも、被保険者は申込み可能。			
育児指導書の配布(【実績値】18件　【目標値】令和6年度：-件　令和7年度：-件　令和8年度：-件　令和9年度：-件　令和10年度：-件　令和11年度：-件)-													アウトカム指標の設定になじまないため (アウトカムは設定されていません)							
5	既存	健康保険ガイドブック	全て	男女	20 ～ (上限なし)	基準該当者	1	ス	-	シ	-	44	50	50	50	50	50	健康保険のことを知ってもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
												・主に毎年４月新入社員向けに「社会保険ガイド」を配布する。 ・新たに社員になる被保険者に向けても配布。	・主に毎年４月新入社員向けに「社会保険ガイド」を配布する。 ・新たに社員になる被保険者に向けても配布。	・主に毎年４月新入社員向けに「社会保険ガイド」を配布する。 ・新たに社員になる被保険者に向けても配布。	・主に毎年４月新入社員向けに「社会保険ガイド」を配布する。 ・新たに社員になる被保険者に向けても配布。	・主に毎年４月新入社員向けに「社会保険ガイド」を配布する。 ・新たに社員になる被保険者に向けても配布。	・主に毎年４月新入社員向けに「社会保険ガイド」を配布する。 ・新たに社員になる被保険者に向けても配布。			
健康保険等の情報提供(【実績値】27冊　【目標値】令和6年度：100冊　令和7年度：100冊　令和8年度：100冊　令和9年度：100冊　令和10年度：100冊　令和11年度：100冊)・社会保険の制度を覚えてもらう。													アウトカム設定になじまないため (アウトカムは設定されていません)							
5	既存	高齢者向け健康管理誌	全て	男女	60 ～ 69	被保険者	1	ス	・６０～６９歳までの被保険者に健康管理のための健康情報誌を配布 ・配布回数４回/年	シ	-	352	370	370	370	370	370	情報提供することで、日頃の健康管理に役立ててもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
												・年４回、60～69歳までの被保険者の自宅に郵送	・年４回、60～69歳までの被保険者の自宅に郵送	・年４回、60～69歳までの被保険者の自宅に郵送	・年４回、60～69歳までの被保険者の自宅に郵送	・年４回、60～69歳までの被保険者の自宅に郵送	・年４回、60～69歳までの被保険者の自宅に郵送			
冊子「ばらんす」の配布(【実績値】100％　【目標値】令和6年度：-%　令和7年度：-%　令和8年度：-%　令和9年度：-%　令和10年度：-%　令和11年度：-%)年４回発行する。													なじまないため (アウトカムは設定されていません)							
2	既存	医療費通知	全て	男女	0 ～ 74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	343	400	400	400	400	400	健康や医療に対する理解を深めてもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
												・毎月の医療機関の受診者に対して、医療費の額を通知。	・毎月の医療機関の受診者に対して、医療費の額を通知。	・毎月の医療機関の受診者に対して、医療費の額を通知。	・毎月の医療機関の受診者に対して、医療費の額を通知。	・毎月の医療機関の受診者に対して、医療費の額を通知。	・毎月の医療機関の受診者に対して、医療費の額を通知。			
医療費通知の配布(【実績値】12回　【目標値】令和6年度：12回　令和7年度：12回　令和8年度：12回　令和9年度：12回　令和10年度：12回　令和11年度：12回)毎月発行													医療費適正化への理解(【実績値】12回　【目標値】令和6年度：12回　令和7年度：12回　令和8年度：12回　令和9年度：12回　令和10年度：12回　令和11年度：12回)医療費の適正化への理解度が深まる							
													257	300	300	300	300			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	8	既存	無受診者表彰	全て	男女	0～（上限なし）	基準該当者	1	ア	一年間無受診の対象者に記念品を贈呈する。 ・歯科検診うながすため、R6年度からは医療費が歯科受診のみの場合も対象者とする。	シ	・対象者へメールで知らせる。（10月ごろ実施）	・一年間、医療機関等で無受信であった世帯の被保険者の方を健康者として表彰し、記念品を贈呈。 ・歯科検診うながすため、R6年度からは歯科受診のみの場合も対象者とする。	・一年間、医療機関等で無受信であった世帯の被保険者の方を健康者として表彰し、記念品を贈呈。 ・歯科検診うながすため、R6年度からは歯科受診のみの場合も対象者とする。	・一年間、医療機関等で無受信であった世帯の被保険者の方を健康者として表彰し、記念品を贈呈。 ・歯科検診うながすため、R6年度からは歯科受診のみの場合も対象者とする。	・一年間、医療機関等で無受信であった世帯の被保険者の方を健康者として表彰し、記念品を贈呈。 ・歯科検診うながすため、R6年度からは歯科受診のみの場合も対象者とする。	・一年間、医療機関等で無受信であった世帯の被保険者の方を健康者として表彰し、記念品を贈呈。 ・歯科検診うながすため、R6年度からは歯科受診のみの場合も対象者とする。	・一年間、医療機関等で無受信であった世帯の被保険者の方を健康者として表彰し、記念品を贈呈。 ・歯科検診うながすため、R6年度からは歯科受診のみの場合も対象者とする。	無受診者表彰の実施について周知し、健康への関心を高めてもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
健康者の表彰(【実績値】29人 【目標値】令和6年度：-人 令和7年度：-人 令和8年度：-人 令和9年度：-人 令和10年度：-人 令和11年度：-人)記念品を授与													なじまないため (アウトカムは設定されていません)												
	2,5	既存	健康セミナー（コレボヘルス）	一部の事業所	男女	20～（上限なし）	その他	1	ス	-	シ	-	500	500	500	500	500	500	500	当該年度の会費を算出し、支払う。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
会費(【実績値】1件 【目標値】令和6年度：1件 令和7年度：1件 令和8年度：1件 令和9年度：1件 令和10年度：1件 令和11年度：1件)-													なじまないため (アウトカムは設定されていません)												
	5	既存	生活習慣病の改善に向けた情報提供	全て	男女	20～（上限なし）	被保険者	1	ス	-	シ	-	107	110	110	110	110	110	生活習慣改善情報提供(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)生活習慣改善に向けた情報提供	・生活習慣病改善に向けた情報提供	・HbA1cが6.5%以上の加入者の35人の内、18人（51.4%）が治療中である。 一方、治療していない加入者が17人（48.6%）いる。 ・糖尿病合併症が進行しやすいHbA1c8.4%以上の加入者も4人いる。 ・収縮期血圧140以上180未満の加入者148人の内、43人（29.1%）が治療中である。 一方、治療していない加入者が105人（70.9%）いる。 ・悪性高血圧症とされる収縮期血圧180以上の加入者が10人いる。 ・医療費総額において、歯科関連疾患（歯肉炎・歯周病）が多い。 ・被保険者の特定検診受診率は2022年度まで全て90%以上で目標を満たしている。 ・被扶養者の特定検診受診率は2017年度から2022年度まで20%から30%台で推移しており、目標を満たしていない。 ・被保険者の特定保健指導実施率は2020年度は0%だが、それ以外は20%以下で推移しているが、目標には達成していない。 ・被扶養者の特定保健指導実施率は2019年度まで0%が続き、その後2021年度には25%に上昇しているが、目標に達成していない。 ・被保険者の特定保健指導対象者は概ね減少傾向である。被扶養者の特定保健指導対象者は2019年度以降概ね増加傾向である。				
生活習慣改善情報提供(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)生活習慣改善に向けた情報提供													- (アウトカムは設定されていません)												
個別の事業																									
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健康診査	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ウ	被保険者は、事業主が行う定期健康診断時に実施。 被扶養者は、随時受付の人間ドック受診時に実施。 もしくは特定健診のみの受診も可。	コ	定期健康診断実施の医療機関及び健保組合の契約健診機関で受診できる。	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	受診者に自らの健康状態を知ってもらい、生活習慣病を予防する。	・被保険者の特定検診受診率は2022年度まで全て90%以上で目標を満たしている。 ・被扶養者の特定検診受診率は2017年度から2022年度まで20%から30%台で推移しており、目標を満たしていない。					
特定健康診査の受診(【実績値】918人 【目標値】令和6年度：935人 令和7年度：935人 令和8年度：935人 令和9年度：935人 令和10年度：935人 令和11年度：935人)・本人は5年度実績数を継続する。 ・被扶養者について令和5年度の健診数からのアップを目指す。													特定健康診査受診率(【実績値】78.19% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)・受診率がアップすることにより受信者の健康維持になる。												

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連							
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画													
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度						
アウトプット指標													アウトカム指標													
特定健診実施率(【実績値】 78.19% 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)・被扶養者について各年度受診者率5%アップを目指す。																										
2,3	新規	特定健康診査受診勧奨	全て	女性	40～74	基準該当者	1	ウ	被扶養者の方へ直接、特定検診の案内等を郵送する。	ケ,コ	-	74	80	80	80	80	80	被扶養者の特定健診受診率を上げる。	・被保険者の特定検診受診率は2022年度まで全て90%以上で目標を満たしている。 ・被扶養者の特定検診受診率は2017年度から2022年度まで20%から30%台で推移しており、目標を満たしていない。							
												・被扶養者の方へ直接特定検診の案内書等を郵送して特定検診の受診率を上げる。	・被扶養者の方へ直接特定検診の案内書等を郵送して特定検診の受診率を上げる。	・被扶養者の方へ直接特定検診の案内書等を郵送して特定検診の受診率を上げる。	・被扶養者の方へ直接特定検診の案内書等を郵送して特定検診の受診率を上げる。	・被扶養者の方へ直接特定検診の案内書等を郵送して特定検診の受診率を上げる。	・被扶養者の方へ直接特定検診の案内書等を郵送して特定検診の受診率を上げる。									
特定健診の受診（申込み）（【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%）40歳以上の被扶養者（配偶者限定）へ特定健診のご案内を郵送（実施できたら100%とする）													- (アウトカムは設定されていません)													
特定保健指導事業	2,4	既存（法定）	特定保健指導	全て	男女	40～55	基準該当者	1	ウ	・メールで回答を確認し、未回答者へは最終、電話で督促する。	ア	-	2,100	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	特定保健指導を受診することで、生活習慣の改善を促す。また、生活習慣病を予防する。	・被保険者の特定保健指導実施率は2020年度は0%だが、それ以外は20%以下で推移しているが、目標には達成していない。 ・被扶養者の特定保健指導実施率は2019年度まで0%が続き、その後2021年度には25%に上昇しているが、目標に達成していない。 ・被保険者の特定保健指導対象者は概ね減少傾向である。被扶養者の特定保健指導対象者は2019年度以降概ね増加傾向である。						
													・対象者の大半を占める被保険者には職場の上長を通じた指導勧奨を行う。 ・指導機会を増やす。（リモート指導及び保健師在中のドラッグストアでの指導）	・対象者の大半を占める被保険者には職場の上長を通じた指導勧奨を行う。 ・指導機会を増やす。（リモート指導及び保健師在中のドラッグストアでの指導）	・対象者の大半を占める被保険者には職場の上長を通じた指導勧奨を行う。 ・指導機会を増やす。（リモート指導及び保健師在中のドラッグストアでの指導）	・対象者の大半を占める被保険者には職場の上長を通じた指導勧奨を行う。 ・指導機会を増やす。（リモート指導及び保健師在中のドラッグストアでの指導）	・対象者の大半を占める被保険者には職場の上長を通じた指導勧奨を行う。 ・指導機会を増やす。（リモート指導及び保健師在中のドラッグストアでの指導）	・対象者の大半を占める被保険者には職場の上長を通じた指導勧奨を行う。 ・指導機会を増やす。（リモート指導及び保健師在中のドラッグストアでの指導）								
													健診機関での面談率向上(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)・健診機関である結核予防会での受診者、受診率								特定保健指導実施率の向上(【実績値】 42.96% 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)・対象者の大半を占める被保険者には職場の上長を通じた指導勧奨を行い受診率向上を目指す。 ・生活習慣病への理解が深まる。					
													特定保健指導の受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)・メール案内による受診回答率								-					
保健指導宣伝	7	既存	後発医薬品の差額通知	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	1	ス	・差額通知の配布（2回/年）	シ	-	96	100	100	100	100	100	・健保組合薬剤費及び加入者の医療費削減効果	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）						
													・後発医薬品希望者に対しシールの配布 ・後発医薬品使用推奨 ・後発医薬品の安全性に関する情報提供 以上の内容を行い使用率アップを目指す。	・後発医薬品希望者に対しシールの配布 ・後発医薬品使用推奨 ・後発医薬品の安全性に関する情報提供 以上の内容を行い使用率アップを目指す。	・後発医薬品希望者に対しシールの配布 ・後発医薬品使用推奨 ・後発医薬品の安全性に関する情報提供 以上の内容を行い使用率アップを目指す。	・後発医薬品希望者に対しシールの配布 ・後発医薬品使用推奨 ・後発医薬品の安全性に関する情報提供 以上の内容を行い使用率アップを目指す。	・後発医薬品希望者に対しシールの配布 ・後発医薬品使用推奨 ・後発医薬品の安全性に関する情報提供 以上の内容を行い使用率アップを目指す。	・後発医薬品希望者に対しシールの配布 ・後発医薬品使用推奨 ・後発医薬品の安全性に関する情報提供 以上の内容を行い使用率アップを目指す。								
後発医薬品使用率(【実績値】 75.8% 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)・実績値は令和4年9月値。													後発医薬品使用効果(【実績値】 75.8% 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)・薬剤費低減が保険料率の改善に繋がり、加えて加入者の負担軽減になる。 ・実績値は令和4年9月値。													
疾病予防	3	既存	人間ドック（1泊2日）	全て	男女	30～（上限なし）	被保険者,被扶養者	1	ウ,サ	-	シ	-	400	400	400	400	400	400	加入者自らの健康状態を把握する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）						
													・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。								
	健康診査の受診(【実績値】 1人 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-													健康管理(【実績値】 1人 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-												
	3	既存	人間ドック（半日・年齢別）	全て	男女	35～50	基準該当者	1	ウ,サ	-	シ	-	900	900	900	900	900	900	受診者自らの健康状態を把握する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）						
・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・35・40・45・50歳は費用の一部（3万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。													・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・35・40・45・50歳は費用の一部（3万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・35・40・45・50歳は費用の一部（3万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・35・40・45・50歳は費用の一部（3万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・35・40・45・50歳は費用の一部（3万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・35・40・45・50歳は費用の一部（3万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。									
健康診査の受診(【実績値】 10人 【目標値】 令和6年度：30人 令和7年度：30人 令和8年度：30人 令和9年度：30人 令和10年度：30人 令和11年度：30人)・加入者の健康状態を把握できる。													健康管理(【実績値】 10人 【目標値】 令和6年度：30人 令和7年度：30人 令和8年度：30人 令和9年度：30人 令和10年度：30人 令和11年度：30人)・受診することで自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善につなげることができる。													
													4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000								

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度				
アウトプット指標													アウトカム指標											
3	既存		人間ドック（半日）	全て	男女	30（上限なし）	被保険者	1	ウ,サ	-	シ	-	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	・毎年度当初に人間ドック等の受診及び契約健診機関等について社内web等で情報発信 ・受信者へ人間ドック費用の一部（2万円）を健保組合で負担して受診環境をととのえる。	受診者自らの健康状態を把握する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
健康診査の受診(【実績値】112人 【目標値】令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)・加入者の健康状態を把握できる。													健康管理(【実績値】112人 【目標値】令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)・受診することで自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善につなげることができる。											
3	既存		脳ドックと半日ドック	全て	男女	45（上限なし）	被保険者,被扶養者	1	ウ	-	シ	-	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	受診者自らの健康状態を把握する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
健康診査の受診(【実績値】25人 【目標値】令和6年度：30人 令和7年度：30人 令和8年度：30人 令和9年度：30人 令和10年度：30人 令和11年度：30人)													健康管理(【実績値】25人 【目標値】令和6年度：30人 令和7年度：30人 令和8年度：30人 令和9年度：30人 令和10年度：30人 令和11年度：30人)充実した検査により疾患の早期発見につながる。											
3	既存		胃X線検診	全て	男女	35（上限なし）	被保険者	1	ウ	-	コ,シ	・事業主と連携し、被保険者が就業時間内に受診できるよう運営体制を整備している。	・対象者は35歳以上の被保険者。 ・毎年度7月に社内webにて案内し希望者が受診。 ・案内を強化する方策を検討する。	・対象者は35歳以上の被保険者。 ・毎年度7月に社内webにて案内し希望者が受診。 ・案内を強化する方策を検討する。	・対象者は35歳以上の被保険者。 ・毎年度7月に社内webにて案内し希望者が受診。 ・案内を強化する方策を検討する。	・対象者は35歳以上の被保険者。 ・毎年度7月に社内webにて案内し希望者が受診。 ・案内を強化する方策を検討する。	・対象者は35歳以上の被保険者。 ・毎年度7月に社内webにて案内し希望者が受診。 ・案内を強化する方策を検討する。	・対象者は35歳以上の被保険者。 ・毎年度7月に社内webにて案内し希望者が受診。 ・案内を強化する方策を検討する。	受診者自らの健康状態を把握する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
健康診査の受診(【実績値】212人 【目標値】令和6年度：250人 令和7年度：250人 令和8年度：250人 令和9年度：250人 令和10年度：250人 令和11年度：250人)-													健康管理(【実績値】212人 【目標値】令和6年度：250人 令和7年度：250人 令和8年度：250人 令和9年度：250人 令和10年度：250人 令和11年度：250人)-											
3	既存		胃精検	全て	男女	35（上限なし）	基準該当者	1	イ,ウ	-	シ	-	1,155	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	重症化予防	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
胃精検の受診(【実績値】14人 【目標値】令和6年度：70人 令和7年度：70人 令和8年度：70人 令和9年度：70人 令和10年度：70人 令和11年度：70人)・受診することで重症化が防げる。													健康管理(【実績値】14人 【目標値】令和6年度：70人 令和7年度：70人 令和8年度：70人 令和9年度：70人 令和10年度：70人 令和11年度：70人)・重症化を防ぐことができ、また医療費の節約にもつながる。											
6	既存		健康電話相談	全て	男女	20（上限なし）	加入者全員	1	ス	・加入者がいつでも健康について相談が可能。 ・病気の悩みについて専門医と相談が可能。	シ	-	600	600	600	600	600	600	加入者が安心して働ける環境づくりのために活用してもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
健康電話相談の活用(【実績値】25件 【目標値】令和6年度：-件 令和7年度：-件 令和8年度：-件 令和9年度：-件 令和10年度：-件 令和11年度：-件)-													なじまないため (アウトカムは設定されていません)											
3	既存		骨密度検査	全て	女性	20（上限なし）	被保険者,基準該当者	1	サ	-	シ	-	400	400	400	400	400	400	受診者自らの健康状態を知り、健康維持・増進を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
健康審査の受診(【実績値】138人 【目標値】令和6年度：160人 令和7年度：160人 令和8年度：160人 令和9年度：160人 令和10年度：160人 令和11年度：160人)-													健康管理(【実績値】138人 【目標値】令和6年度：160人 令和7年度：160人 令和8年度：160人 令和9年度：160人 令和10年度：160人 令和11年度：160人)-											
													1,430	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500						

予算 科目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象 事業所	性別	年 齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
3	既存	婦人科検診	全て	女性	20 ～ （上限なし）	被保険者,基準該当者	1	サ	・事業主が実施している定期健康診断時に希望者へ実施。 ・費用については健保組合が負担することで受診率アップにつながる。	シ	・費用については健保組合が負担することで受診率アップにつながる。	・事業主が実施している定期健康診断時に希望者へ実施。 ・費用については健保組合が負担することで受診率アップにつながる。	・事業主が実施している定期健康診断時に希望者へ実施。 ・費用については健保組合が負担することで受診率アップにつながる。	・事業主が実施している定期健康診断時に希望者へ実施。 ・費用については健保組合が負担することで受診率アップにつながる。	・事業主が実施している定期健康診断時に希望者へ実施。 ・費用については健保組合が負担することで受診率アップにつながる。	・事業主が実施している定期健康診断時に希望者へ実施。 ・費用については健保組合が負担することで受診率アップにつながる。	・事業主が実施している定期健康診断時に希望者へ実施。 ・費用については健保組合が負担することで受診率アップにつながる。	受診者自らの健康状態を把握する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
健康診査の受診(【実績値】 341人 【目標値】 令和6年度：350人 令和7年度：350人 令和8年度：350人 令和9年度：350人 令和10年度：350人 令和11年度：350人)・令和5年度実績として子宮がん147名、乳がん194名が受診。												健康管理(【実績値】 341人 【目標値】 令和6年度：350人 令和7年度：350人 令和8年度：350人 令和9年度：350人 令和10年度：350人 令和11年度：350人)・自らの健康状態を把握できる。											
2,4	既存	重症化予防	全て	男女	40 ～ 50	被保険者	1	サ,ス	-	シ	-	418	450	450	450	450	450	・重症化予防に向けて施策	・HbA1cが6.5%以上の加入者の35人の内、18人（51.4%）が治療中である。 一方、治療していない加入者が17人（48.6%）いる。 ・糖尿病合併症が進行しやすいHbA1c8.4%以上の加入者も4人いる。 ・収縮期血圧140以上180未満の加入者148人の内、43人（29.1%）が治療中である。 一方、治療していない加入者が105人（70.9%）いる。 ・悪性高血圧症とされる収縮期血圧180以上の加入者が10人いる。				
重症化予備軍の指導数の向上(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：20人 令和7年度：20人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：20人 令和11年度：20人)・重症化予備軍の全体人数に対する指導者数。												重症化予備軍の指導の向上(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：20人 令和7年度：20人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：20人 令和11年度：20人)・生活習慣病への理解が深まる。											
5	既存	禁煙サポート	全て	男女	20 ～ （上限なし）	被保険者	1	サ,ス	-	シ	-	331	350	350	350	350	350	・禁煙者が増加することで医療費の削減につながる。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
禁煙チャレンジ者の増加(【実績値】 2人 【目標値】 令和6年度：1人 令和7年度：1人 令和8年度：1人 令和9年度：1人 令和10年度：1人 令和11年度：1人)・禁煙チャレンジ者の増加												禁煙チャレンジ者の増加(【実績値】 2人 【目標値】 令和6年度：1人 令和7年度：1人 令和8年度：1人 令和9年度：1人 令和10年度：1人 令和11年度：1人)・禁煙を行うことで健康増進につながる。											
3	既存	前期高齢者向け電話保健指導	全て	女性	60 ～ 64	被扶養者	1	ウ	-	シ	-	533	550	550	550	550	550	自らの健康に関心を持ってもらい、健康維持・増進を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
保健指導受診率(【実績値】 54% 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：65% 令和8年度：65% 令和9年度：65% 令和10年度：65% 令和11年度：65%)・電話保健指導受診率の増加												保健指導受診率(【実績値】 54% 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：65% 令和8年度：65% 令和9年度：65% 令和10年度：65% 令和11年度：65%)・電話保健指導受診率の増加することで健康意識の向上											
3	新規	郵送健診	全て	男女	40 ～ （上限なし）	基準該当者	1	ウ	・手軽にできる前立腺がんなどのリスク健診。 ・40歳以上加入者を対象に社内Web及び組合HPを通じて案内する。	シ	・健診希望者に契約業者から健診キットを送付しリスクを判定する。	・40歳以上加入者を対象に社内Web及び組合HPを通じて案内する。	・40歳以上加入者を対象に社内Web及び組合HPを通じて案内する。	・40歳以上加入者を対象に社内Web及び組合HPを通じて案内する。	・40歳以上加入者を対象に社内Web及び組合HPを通じて案内する。	・40歳以上加入者を対象に社内Web及び組合HPを通じて案内する。	・40歳以上加入者を対象に社内Web及び組合HPを通じて案内する。	目的：気軽に検査が受けられる。 概要：病院に行かずに気軽に簡単に検査結果が判明する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
健康診査(【実績値】 77人 【目標値】 令和6年度：90人 令和7年度：90人 令和8年度：90人 令和9年度：90人 令和10年度：900人 令和11年度：900人)-												健康管理(【実績値】 77人 【目標値】 令和6年度：90人 令和7年度：90人 令和8年度：90人 令和9年度：90人 令和10年度：90人 令和11年度：90人)・自らの健康状態を把握できる。											
2,3	新規	歯周病リスク検査	全て	男女	40 ～ （上限なし）	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ウ	・社内Web及び組合HPを通じて40歳以上の加入者に対し事業の案内を行う。	シ	・健診希望者に契約業者から健診キットを送付し歯周病リスクを判定する。	・40歳以上の歯周病リスクが高いことから健保負担で受診率を高める。 ・リスクがあると判定されれば、次のステップ歯科健診へ行動を促すことが可能。	・40歳以上の歯周病リスクが高いことから健保負担で受診率を高める。 ・リスクがあると判定されれば、次のステップ歯科健診へ行動を促すことが可能。	・40歳以上の歯周病リスクが高いことから健保負担で受診率を高める。 ・リスクがあると判定されれば、次のステップ歯科健診へ行動を促すことが可能。	・40歳以上の歯周病リスクが高いことから健保負担で受診率を高める。 ・リスクがあると判定されれば、次のステップ歯科健診へ行動を促すことが可能。	・40歳以上の歯周病リスクが高いことから健保負担で受診率を高める。 ・リスクがあると判定されれば、次のステップ歯科健診へ行動を促すことが可能。	・40歳以上の歯周病リスクが高いことから健保負担で受診率を高める。 ・リスクがあると判定されれば、次のステップ歯科健診へ行動を促すことが可能。	・受信者自らの健康状態を把握する。	・医療費総額において、歯科関連疾患（歯肉炎・歯周病）が多い。				
健康診査の受診(【実績値】 159人 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：25人 令和8年度：25人 令和9年度：25人 令和10年度：25人 令和11年度：25人)・受診率のアップを目指して、健康管理に寄与することになる。												健康管理(【実績値】 159人 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：25人 令和8年度：25人 令和9年度：25人 令和10年度：25人 令和11年度：25人)・受信者自身の健康状態が把握でき、次への行動変容（歯科検診）が促せることになる。											
												13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000						

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
	8	既存	カフェポイント原資	一部の事業所	男女	20～（上限なし）	被保険者	3	ス	-	シ	-	・人間ドック、家庭用常備薬、インフルエンザ予防接種費用（被扶養者）等の費用負担の補助	・人間ドック、家庭用常備薬、インフルエンザ予防接種費用（被扶養者）等の費用負担の補助	・人間ドック、家庭用常備薬、インフルエンザ予防接種費用（被扶養者）等の費用負担の補助	・人間ドック、家庭用常備薬、インフルエンザ予防接種費用（被扶養者）等の費用負担の補助	・人間ドック、家庭用常備薬、インフルエンザ予防接種費用（被扶養者）等の費用負担の補助	・人間ドック、家庭用常備薬、インフルエンザ予防接種費用（被扶養者）等の費用負担の補助	健康管理や、健康維持・増進に活用してもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
	カフェポイントの原資(【実績値】55% 【目標値】令和6年度：-% 令和7年度：-% 令和8年度：-% 令和9年度：-% 令和10年度：-% 令和11年度：-%)-													なじまないため (アウトカムは設定されていません)									
体育奨励	8	既存	カフェポイント原資	一部の事業所	男女	20～（上限なし）	被保険者	3	ス	-	シ	-	・体育施設利用の費用負担の補助	・体育施設利用の費用負担の補助	・体育施設利用の費用負担の補助	・体育施設利用の費用負担の補助	・体育施設利用の費用負担の補助	・体育施設利用の費用負担の補助	健康な毎日が送れるよう、リフレッシュとして活用してもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
	カフェポイントの原資(【実績値】55% 【目標値】令和6年度：-% 令和7年度：-% 令和8年度：-% 令和9年度：-% 令和10年度：-% 令和11年度：-%)-													アウトカム設定になじまないため (アウトカムは設定されていません)									
その他	8	既存	カフェポイント原資	一部の事業所	男女	20～（上限なし）	被保険者	3	ス	-	シ	-	・ホテル、旅館、公共の宿等を利用した費用負担の補助	・ホテル、旅館、公共の宿等を利用した費用負担の補助	・ホテル、旅館、公共の宿等を利用した費用負担の補助	・ホテル、旅館、公共の宿等を利用した費用負担の補助	・ホテル、旅館、公共の宿等を利用した費用負担の補助	・ホテル、旅館、公共の宿等を利用した費用負担の補助	健康な毎日が送れるよう、リフレッシュとして活用してもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
	カフェポイントの原資(【実績値】56% 【目標値】令和6年度：-% 令和7年度：-% 令和8年度：-% 令和9年度：-% 令和10年度：-% 令和11年度：-%)-													アウトカム設定になじまないため (アウトカムは設定されていません)									

注1) 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

注2) 1．健保組合 2．事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3．健保組合と事業主との共同事業

注3) ア．加入者等へのインセンティブを付与 イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ．ICTの活用 オ．専門職による健診結果の説明 カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ．定量的な効果検証の実施
ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ．就業時間内も実施可（事業主と合意） シ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス．その他

注4) ア．事業主との連携体制の構築 イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ．外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ．他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ．自治体との連携体制の構築 カ．医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ．保険者協議会との連携体制の構築 ク．その他の団体との連携体制の構築
ケ．保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ．その他